

**寄贈図書リスト**

宇宙観5000年史, 中村 士・岡村定矩, A5判, 288頁,

東京大学出版会, 3,200円+税  
はやぶさパワースポット50, はやぶさPS編集部編,  
四六判, 172頁, 1,680円+税, 三和書籍

**月報だより**

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申し込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) 宛。

なお, 原稿も必ず Faxで 0422-31-5487 までお送りください。

**人事公募**

標準書式:なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

**国立天文台研究教育職員 (ALMA 推進室)**

1. 准教授1名
2. (1) 国立天文台 ALMA 推進室  
(2) 東京都三鷹市またはチリ共和国サンティアゴ
3. 観測的天文学
4. 国立天文台では, 日米欧3極による国際プロジェクトである ALMA の建設と運用を推進しています。今回公募する准教授には, 国立天文台の ALMA プロジェクトの中核となっていただきます。特に, JAO (Joint ALMA Observatory) や米欧の ALMA パートナーと連携した ALMA 望遠鏡の共同利用運用や, 東アジアの ALMA パートナーとの連携の強化および東アジア地域における ALMA サイエンス・プロモーションにおいて重要な役割を担う研究者を求めます。
5. 決定後なるべく早い時期
6. 博士の学位を有するか, またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴 (個人としての研究業績の他に, 多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入して下さい), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の場合は役割分担を記すこと),

- (4) 研究計画書 (個人としての研究業績の他に ALMA 運用推進についての抱負も記入してください), (5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合は推薦書のほかに, (1)~(4)の概要が分かる書類

8. 2012年3月16日 (金) 17時必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台台長 観山正見  
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台 ALMA 推進室長 立松健一  
E-mail: [k.tatematsu@nao.ac.jp](mailto:k.tatematsu@nao.ac.jp)
10. 封筒の表に「ALMA 准教授応募書類」と朱記し, 簡易書留で郵送送付すること。直接持参も受け付けます。電子メールでの応募は受け付けません。選考は国立天文台運営会議で行います。国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し, 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。詳しくは  
<http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokiyodo/>  
をご覧ください。

**人事公募結果**

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

**国立天文台水沢 VLBI 観測所 教授または准教授 1名**

1. 2009年8月 (第102巻8号)
2. 事態の変化により, この募集は中止しました。

## 京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室 准教授

1. 2011年6月(第104巻6号)
2. 栗田光樹夫(名古屋大学高等研究院 特任助教)
3. 2012年1月1日

### 会務案内

#### 【2012年度春季総会開催のお知らせ】

正会員各位

社団法人 日本天文学会  
理事長 岡村定矩

一綴じ込みの返信用葉書で3月13日(火)までに到着するようにご投票を！

下記のとおり2012年度春季通常総会を開催いたしますので、ご出席くださるようご案内申し上げます。総会は本会の最高決定機関で、総会成立には正会員の5分の1以上の出席が必要です(定款第42条)。欠席される場合には、下記の議案をよくお読みのうえ、次の(1)または(2)のどちらかの対応をしてください。いずれの場合も、総会出席とみなされます。

- (1) 綴じ込みの総会返信用葉書(以下「葉書」と呼ぶ)を用いて賛否の意志を表明する。
- (2) 他の出席予定者の正会員に表決権の行使を委任する。

「葉書」は、3月13日(火)までに天文学会事務所に到着するように投函してください。「葉書」には切手を貼る必要はありません。

#### ○「投票および委任状の書き方」

総会に出席できない正会員は、綴じ込みの総会返信用「葉書」で議案に対する賛否の意志表示をするか、委任状を提出してください。(委任状にはとくに指定の用紙はありません。)

賛否の意志表示をされる方は、それぞれの議案について「賛成」、「反対」のいずれかを○で囲んでください。賛成・反対以外にご意見があれば、所定の欄に記入し、書ききれないときは別紙に書いて事務所宛にお送りください。

なお、次の投票は無効となり、出席会員数に数えられません。

- 1) 会員番号、住所(または勤務先)の両方を欠くもの。

- 2) 氏名を自署していないもの。
- 3) 投票権のない者からの投票(正会員以外の者)。
- 4) 二重投票。

次の票は出席会員数には入れるが、棄権票として扱います。

- 1) 賛成、反対の意思表示をせず、意見だけを書いた票。

- 2) 白票。

委任状については、次の場合に無効となります。

- 1) 委任正会員の氏名、自署、捺印のいずれかを欠くもの。
- 2) 委任正会員の会員番号、住所(または勤務先)の両方を欠くもの。
- 3) 被委任正会員の氏名を欠くもの。
- 4) 被委任正会員が総会に出席しない場合。
- 5) 被委任正会員として、単に役職名の「理事長」または「議長」と書かれたもの。

#### ○2012年度春季通常総会

日 時: 2012年3月20日(月)

総会出席者確認: 16:30~17:00

総会開始: 17:00~

場 所: 龍谷大学 深草キャンパス3号館301号室

注 意: 総会出席確認作業の時間中に会場へ入場してください。確認された方には表決のときに必要な札をお渡しします。

#### 議案と報告(本誌186頁から227頁まで参照)

- 第1号議案 2011年度事業報告書の承認
- 第2号議案 2011年度決算報告書の承認
- 第3号議案 新定款の承認
- 第4号議案 新定款の細部変更の権限の理事長への委任
- 第5号議案 代議員選挙施行細則の承認

[報告]

監査報告

日本学術会議報告

IAU報告

公益法人への移行作業

会長・代議員選挙について

その他

議事に先立ち2011年度各賞の授与式を行います。

## 【第1号議案】

社団法人 日本天文学会 2011年度事業報告書(案)

## I. 巡回展, 七夕講演会(定款第2章第5条8項に該当の事業)

1. 2009年に開始した世界天文年巡回展:「ガリレオの天体観測から400年:宇宙の謎を解き明す」を, 2010年度に引き続き, 2011年3月~5月に熊本市立熊本博物館で開催し, 3年間にわたって行なった巡回展を終了した.
2. (7月7日を中心とした)7月上旬に全国同時七夕講演会を全国87か所で開催し, 約4,000人が参加した. また, 同時期には京都府の小中高校を対象に京都大学のスタッフや大学院生による出張天文授業も行われ47校1,000人が参加した.

## II. 出版物の刊行(定款第2章第5条2, 3項に該当の事業)

1. 欧文研究報告(Publications of the Astronomical Society of Japan): 第63巻1号~6号, 特別増刊号1~3号の計9回刊行. 総論文数186編(うちLetter14編, 暗黒星雲カタログ1編, VERA特集10編, すばる特集19編, はやぶさ特集10編, すざく・MAXI特集39編), 総頁数2,488頁, 発行部数1,350部, 偶数月の25日発行, 「科学研究費補助金(学術定期刊行物)」(日本学術振興会)750万円を受領.
2. 天文月報: 第104巻1号-12号を刊行. 総頁数758頁, 総目次10頁, 発行部数3,200部, 毎月20日発行.
3. 年会予稿集: 2011年春・秋季年会の2回発行, 総頁数645頁, 春800部, 秋800部印刷.
4. ジュニアセッション: 春季講演予稿集120頁, 600部印刷.
5. 公開講演会パンフレット: 春・秋年会時の公開講演会の際に配付するパンフレットを予定していたが, 最終的に製作しなかった.

## III. 年会の開催(定款第2章第5条1項に該当の事業)

## 1. 2011年春季年会

3月16日(水)から19日(土)の4日間, 筑波大学(茨城県・つくば市)にて開催予定であった2011年春季年会は, 3月11日の東日本大震災の影響を受け, 急遽, 開催中止とすることとした. 筑波大学では口頭講演会場8, ポスター会場5, 展示会場2を使用し, 口頭講演403件,

ポスター講演229件の合計632の講演を予定していた. 開催地幹事の梅村雅之氏をはじめ筑波大学のスタッフ・学生の皆様には, 年会の準備にあたりご尽力を頂いた. また, 震災直後の大変な状況の中にもかかわらず, 迅速に年会中止の対応をとって頂いた.

開催を予定していた, 企画セッション1件(「巨大ブラックホールと銀河の共進化」(世話人: 和田桂一(鹿児島大学), 谷口義明, 長尾透(愛媛大学), 梅村雅之(筑波大学), 秋山正幸(東北大学))), 天文教育フォーラム, ならびに, ジュニアセッションは中止とした. また, 特別セッション2件(「ALMA特別セッション」世話人: 齋藤正雄(国立天文台), 「LCGT特別セッション」世話人: 大橋正健(東京大学)), ならびに, 林 忠四郎賞受賞講演, 研究奨励賞受賞講演は延期し, 2011年秋季年会にて開催することとした.

記者発表ならびに公開講演会については, 日程を変更し以下の通り開催した.

## ◇記者発表

3月15日(火)に予定していた記者発表は延期し, 6月13日(月)14時から, 国立天文台三鷹キャンパス大セミナー室(すばる棟)において行った. 岡村定矩理事長より挨拶と春季年会の中止に至る経緯, ならびにその後の対応について説明がなされた. その後, 各講演者から以下のトピックスについて解説が行われた. 発表者と発表タイトルは以下のとおりである. 本記者発表には, 報道機関4社の出席があり, これらの内容は, 記者会見後の6月15日の段階で確認できたもので, 計28紙の新聞に掲載された.

- (1) 合体で巨大化するブラックホール  
記者会見出席者: 梅村雅之, 谷川 衝(筑波大学)
- (2) 「はやぶさ」地球帰還時の光学望遠鏡による観測とその軌道解析  
記者会見出席者: 吉川 真(宇宙航空研究開発機構), 山口智宏(総合研究大学院大学), 八木雅文(国立天文台)
- (3) 目指せ, 理科指導力アップ! 小学校教員の卵  
記者会見出席者: 下井倉ともみ, 土橋一仁(東京学芸大学)

◇公開講演会

3月20日に予定していた公開講演会は延期し、「全国同時七夕講演会」の1つとして、7月3日(日)14時~17時に、つくば国際会議場エポカルにて、「宇宙探求への道」というテーマで行った。講演者と講演タイトルは以下の通りである。

- (1) 佐藤直樹 (宇宙航空研究開発機構)  
「宇宙ステーションと宇宙開発」
- (2) 小久保英一郎 (国立天文台)  
「星くずから惑星を作る—計算機の中の地球」
- (3) 中尾憲一 (大阪市立大学)  
「宇宙からの始まり」
- (4) 中井直正 (筑波大学)  
「南極から宇宙を観る」

◇ジュニアセッション

第13回ジュニアセッション(口頭発表は3月19日、ポスター発表は全日を予定)は、年会の中止に伴い、講演を開催しなかった。予稿集は発行できたので、これをもって研究発表を行ったと報告して良いこととし、次回以降のセッションで同内容での講演も可とした。4月~5月にかけて、Webページでプレゼンテーションやポスターの掲示を行いコメントを募る試みを実施し、100件以上集まったコメントを発表予定だった生徒に送付した。

2. 2011年秋季年会

2011年秋季年会は、9月19日(月)から22日(木)の4日間、鹿児島大学(鹿児島県・鹿児島市)にて口頭講演会場9、ポスター会場4を使って開催された。本年会は、震災の影響で当初予定していた東北大学(宮城県・仙台市)から鹿児島大学に会場を変更し、日程も3日間から1日延ばして4日間開催された。講演件数は口頭講演が489件、ポスター講演が283件であり、合計772講演で、過去最高の講演数であった。年会参加者は892名であった。57名の方々に座長を務めていただいた。

開催地幹事の半田利弘氏をはじめ鹿児島大学のスタッフ・学生の皆様のご尽力により、滞りなく進行した。

懇親会: 9月21日(水) 鹿児島市菅桜島フェリー桜島丸(サクラエンジェル)(参加者数478名)

◇記者発表

秋季年会の前日、9月18日午後1時から、鹿児

島大学稲盛会館一階中会議室にて行われ、岡村定矩理事長からの挨拶と日本天文学会秋季年会の簡単な紹介の後、各講演者から以下のトピックスについて解説が行われた。報道機関6社の出席があった。9月20日までに確認できたもので、テレビニュースにて2件、新聞で4件の報道があった。

- (1) 宇宙最大の爆発「ガンマ線バースト」は強磁場ジェットからの放射だった  
記者会見出席者: 米徳大輔(金沢大学)
- (2) 揺れる巨大ブラックホールの大気—ブラックホールの時空の発見—  
記者会見出席者: 加藤成晃, 三好 真(国立天文台)
- (3) VERA 望遠鏡と鹿児島大望遠鏡で求めた600個のミラ型変光星の立体配置  
記者会見出席者: 面高俊宏, 宮之下亮(鹿児島大学)

◇天文教育フォーラム

年会初日午後4時45分から1時間半、天文教育普及研究会との共催による天文教育フォーラムが開催され、約130名が参加した。テーマは「震災後のいま、社会にたいして私たちが果たすべき役割は?」と題して、3名の講師による講演と会場からの体験談や御意見によって構成されたフォーラムを行った。

東北大学の千葉柁司氏からは「研究教育の現場から」、郡山市ふれあい科学館の安藤享平氏からは、「公開施設(プラネタリウム・公開天文台)の現場から」、東京大学の高梨直紘氏からは「サイエンスコミュニケーションの現場から」というタイトルでそれぞれ東日本大震災直後の状況から現在の状況までの報告があった。各講演のあとに、参加者の体験、考えたことなどの紹介があった。参加者も約140名と盛況であった。

◇林 忠四郎賞受賞記念講演

年会3日目午後4時20分から30分間、2010年度林忠四郎賞受賞記念講演が行われた。講演者は東京工業大学の河合誠之氏で、講演題目は「ガンマ線バーストの系統的研究」であった。講演では、この分野のこれまでの研究の進展と、その中で河合氏らによって、地上望遠鏡と宇宙望遠鏡を組み合わせた観測手法で得られてきた研究成果について、わかりやすく紹介された。特に、2005年に発見した赤方偏移6を超えたガンマ線バーストの発見については、発見から論文としてスピー

ディーに成果をまとめる過程についての詳細を紹介された。会場は200名を越える盛況ぶりであった。

#### ◇研究奨励賞受賞記念講演

年会3日目午後3時15分から1時間、2010年度研究奨励賞受賞者3名の受賞記念講演が行われた。一人あたり20分という短い時間ではあったが、それぞれの研究がわかりやすく紹介された。受賞者と講演題目は次の通りである（五十音順、敬称略）。

鈴木 建（名古屋大学）

「まず太陽からはじめよう」

長尾 透（京都大学）

「宇宙化学進化の観測的研究と私」

馬場 彩（青山学院大学）

「X線観測による銀河系内宇宙線加速源の研究」

参加者は200人程度と盛況であった。

#### ◇「ALMA特別セッション：ALMA東アジア地域センター構想と共同利用について」

年会初日に開催され100人以上の参加者があった。司会進行は国立天文台の齋藤正雄氏が行った。最初に井口 聖ALMA東アジアプロジェクトマネージャーから、最初の共同利用（Cycle 0）開始直前のALMA建設進捗状況が報告され、準備が着々と進んでいる様子が紹介された。次に齋藤正雄ALMA東アジアプロジェクトサイエンティストより、今回のCycle 0から次回共同利用のCycle 1でどんな観測モードが新たに導入され、サイエンスを広げるかの説明があった。そしてALMA東アジア地域センター（EA-ARC）マネージャーの奥村幸子氏から、最初の共同利用におけるプロポーザルの分布や審査、次回以降の注意点などの報告があった。またEA-ARCサイエンティストのDaniel Espada氏よりALMA観測所が取得している科学評価用データの意義、これまでの進捗、そしてアンテナ銀河のモザイクイメージをはじめすでに公開されたデータの紹介があった。講演会場は立ち見ができるほど盛況であった。

#### ◇「LCGT特別セッション」

年会2日目に開催され100人程度の参加者があった。司会進行は東京大学宇宙線研究所の大橋正健氏が行った。まず、LCGTが2010年6月に最先端研究基盤事業に採択されたことが紹介さ

れ、最初の講演として、宇宙線研究所重力波推進室長の黒田和明氏よりLCGT計画の概要の説明があった。重力波検出の原理の説明に始まり、LCGT計画の目標と特徴（特に地下設置と低温ミラー）、計画スケジュール、組織図および国際協力の現状について報告された。

続いて、LCGT計画データ解析チーフである大阪市立大学の神田展行氏から、LCGTのサイエンスについて解説された。この講演では、新しい観測の窓となる重力波を含めたマルチメッセンジャー天文学の構想についての説明に重点が置かれた。

以上の2つの講演に対して、重力波源の角度分解能、装置の稼働率などについて質疑応答が行われた。

最後に、計画代表者である梶田隆章宇宙線研究所長からLCGT計画を推進するにあたって天文コミュニティからの支援が不可欠なことが語られ、閉会となった。

#### ◇保育室

保育室は鹿児島大学敷地内のあらたな会館内の和室を使用した。4家族、子供5名の利用があった。

#### ◇ジュニアセッション

ポスター講演のみを募集し、3件の発表があった。講演へのコメントを収集し、発表者に送付した。予稿は2012年春季のジュニアセッション予稿集に掲載予定。

#### ◇公開講演会

9月18日（日）13:30～17:00に鹿児島大学稲盛会館ホールにて、「天文館から天の川へ」というテーマで行われた。約140名に及ぶ熱心な来場者があった。講演者と講演タイトルは以下の通りである。

(1) 面高俊宏（鹿児島大学）

「天文館からVERAまで」

(2) 田中培生（東京大学）、倉山智春（鹿児島大学）

「ダイエット中の星々」

(3) 郷田直輝（国立天文台）、半田利弘（鹿児島大学）「現代の銀河鉄道沿線図」

(2)、(3)の講演は、対談形式で行われた。各講演後に設けられた質疑応答の時間には熱心な質問が相次ぎ、来場者の関心の高さが伺えた。

なお、本企画は、鹿児島大学の共催、鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会、鹿児島県高等

学校教育研究会理科部会，南日本新聞社，MBC 南日本放送，NHK 鹿児島放送局，KYT 鹿児島読売テレビ，KTS 鹿児島テレビ，KKB 鹿児島放送，エフエム鹿児島，鹿児島シティエフエム，FM さつまの後援で実施された。

◇正会員向け展示ブース

本年会で試験的に正会員向けの展示ブースを開設し，以下の2件の展示が行われた。

「X線天文衛星 ASTRO-H」

世話人：馬場 彩（青山学院大学），宇野 伸一郎（日本福祉大学），秋元文江（名古屋大学）

「ALMA 相談室」

世話人：西合一矢（国立天文台），齋藤正雄（国立天文台），奥村幸子（国立天文台）

IV. 各賞の授与（定款第2章第5条に該当の事業）

2010年度日本天文学会各賞は，2011年2月5日の評議員会で次のように決定し，秋季通常総会の場で授与した。

◇天体発見賞（7氏）

- ・西村栄男（にしむらひでお）氏  
新星 へびつかい座V2673の発見，新星 へびつかい座V2674の発見
- ・西山浩一（にしやまこういち）氏，  
梶島富士夫（かばしまふじお）氏  
新星 さそり座V1310の発見，はくちょう座V407の新星爆発の検出，新星 いて座V5586の発見，新星 さそり座V1311の発見，新星 わし座V1723の発見
- ・池谷 薫（いけやかおる）氏  
彗星 P/2010 V1 (Ikeya-Murakami) の発見
- ・坪井正紀（つばいまさき）氏  
超新星 2010B の発見，超新星 2010gi の発見，  
超新星 2010gz の発見，
- ・板垣公一（いたがきこういち）氏  
超新星 2010ai の発見，超新星 2010cp の発見，  
超新星 2010cr の発見，超新星 2010dq の発見，  
超新星 2010gv の発見，超新星 2010he の発見，  
超新星 2010ki の発見，超新星 2010kp の発見，  
超新星 2010kx の発見
- ・小石川正弘（こしかわまさひろ）氏  
超新星 2010jo の発見

◇天体発見功労賞（9氏）

- ・小嶋 正（こじまただし）氏  
はくちょう座V407の新星爆発の独立検出，  
新星 さそり座V1311の独立発見
- ・坂庭和夫（さかにわかずお）氏  
はくちょう座V407の新星爆発の独立検出
- ・多胡昭彦（たごあきひこ）氏  
はくちょう座V407の新星爆発の独立検出
- ・櫻井幸夫（さくらいゆきお）氏  
新星 さそり座V1311の独立発見
- ・西村栄男（にしむらひでお）氏  
新星 さそり座V1311の独立発見
- ・村上茂樹（むらかみしげき）氏  
彗星 P/2010 V1 (Ikeya-Murakami) の独立発見
- ・後藤邦昭（ごとうくにあき）氏  
超新星 2010bj の独立発見
- ・小島信久（こじまのぶひさ）氏  
超新星 2010gl の独立発見
- ・板垣公一（いたがきこういち）氏  
超新星 2010hh の独立発見

◇天文功労賞（3氏）

長期的な業績

- ・門田健一（かどたけんいち）氏：  
「長期にわたる膨大な数の彗星観測および新天体確認への貢献」

短期的な業績

- ・立川正之（たちかわまさゆき）氏：  
「木星面上の発光現象の検出」
- ・金子静夫（かねこしずお）氏：  
「明るい や座WZ型矮新星の独立発見」

◇林 忠四郎賞（1氏）

- ・河合誠之氏：東京工業大学・教授  
研究の表題「ガンマ線バーストの系統的研究」

◇研究奨励賞（3氏）

- ・鈴木 建氏：名古屋大学大学院理学研究科・准教授  
研究テーマ「コロナ加熱・太陽風加速理論の構築と恒星風・円盤風への応用」
- ・長尾 透氏：愛媛大学大学院理工学研究科数理解物質科学専攻・助教  
研究テーマ「宇宙化学進化の観測的研究」
- ・馬場 彩氏：宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究

究所特定課題研究員ダブリン高等研究所シュレ  
ディンガーフェロー

研究テーマ「X線観測による銀河系内宇宙線  
加速源の研究」

◇欧文研究報告論文賞（2編）

論文題目: Ly  $\alpha$  Emitters at  $z=5.7$  in the Subaru  
Deep Field

著者: Kazuhiro Shimasaku, Nobunari  
Kashikawa, Mamoru Doi, Chun Ly,  
Matthew A. Malkan, Yuichi  
Matsuda, Masami Ouchi, Tomoki  
Hayashino, Masanori Iye, Kentaro  
Motohara, Takashi Murayama,  
Tohru Nagao, Kouji Ohta, Sadanori  
Okamura, Toshiyuki Sasaki,  
Yasuhiro Shioya, and Yoshiaki  
Taniguchi

出版年等: 2006, Vol. 58, pp. 313–334

論文題目: Monte Carlo Simulator and  
Ancillary Response Generator of  
Suzaku XRT/XIS System for  
Spatially Extended Source Analysis

著者: Yoshitaka Ishisaki, Yoshitomo  
Maeda, Ryuichi Fujimoto, Masanobu  
Ozaki, Ken Ebisawa, Tadayuki  
Takahashi, Yoshihiro Ueda, Yasushi  
Ogasaka, Andrew Ptak, Koji Mukai,  
Kenji Hamaguchi, Masaharu  
Hirayama, Taro Kotani, Hidetoshi  
Kubo, Ryo Shibata, Masatoshi  
Ebara, Akihiro Furuzawa, Ryo  
Iizuka, Hirohiko Inoue, Hideyuki  
Mori, Shunsaku Okada, Yushi  
Yokoyama, Hironori Matsumoto,  
Hiroshi Nakajima, Hiroya Yamaguchi,  
Naohisa Anabuki, Noriaki Tawa,  
Masaaki Nagai, Satoru Katsuda,  
Kiyoshi Hayashida, Aya Bamba, Eric  
D. Miller, Kosuke Sato, and Noriko  
Y. Yamasaki

出版年等: 2007, Vol. 59, pp. S113–S132

V. 総会・評議員会・理事会及び監査（定款第4章第  
18条および第6章第29–43条に該当の事業）

1. 総会

2011年春季総会

日時: 2011年3月17日(金) 15:00~15:35

場所: 国立天文台三鷹キャンパスすばる棟大  
セミナー室（三鷹市）

議長: 岡村定矩（天文月報2011年5月号p. 235  
議事録参照）

2011年度秋季総会

日時: 2011年9月20日(木) 17:00~19:20

場所: 鹿児島大学郡元キャンパス共通教育棟  
1号館111号講義室（鹿児島市）

議長: 岡村定矩（天文月報2011年12月号p. 750  
議事録参照）

2. 評議員会

日時: 2011年2月5日(土) 13:00~17:00

場所: 東京大学理学部1号館336号室（東京  
都文京区）

議長: 井上 一（天文月報2011年4月号p. 220  
議事録参照）

日時: 2011年3月17日(土) 16:00~17:50

場所: 国立天文台三鷹キャンパス大会議室  
（三鷹市）

議長: 観山正見（天文月報2011年6月号p. 320  
議事録参照）

日時: 2011年7月9日(土) 12:00~17:50

場所: 東京大学理学部1号館336号室（東京  
都文京区）

議長: 奥村幸子（天文月報2011年9月号p. 515  
議事録参照）

日時: 2011年9月20日(火) 12:00~13:10

場所: 鹿児島大学郡元キャンパス理学部2号  
館212号室（鹿児島市）

議長: 家 正則（天文月報2011年12月号p. 748  
議事録参照）

3. 理事会

日時: 2011年1月22日(土) 13:00~17:00

場所: 国立天文台三鷹キャンパス大会議室  
（三鷹市）

議長: 岡村定矩（天文月報2011年4月号p. 217

議事録参照)

日 時: 2011年3月17日(土) 10:00~12:15  
 場 所: 国立天文台三鷹キャンパス大会議室  
 (三鷹市)  
 議 長: 岡村定矩(天文月報2011年6月号 p. 317  
 議事録参照)

日 時: 2011年6月18日(土) 13:00~18:00  
 場 所: 東京八重洲ホール 6F 612号室(東京  
 都中央区)  
 議 長: 岡村定矩(天文月報2011年9月号 p. 511  
 議事録参照)

日 時: 2011年9月19日(水) 18:30~19:50  
 場 所: 鹿児島大学郡元キャンパス理学部2号  
 館212号室(鹿児島市)  
 議 長: 岡村定矩(天文月報2011年12月号 p. 747  
 議事録参照)

4. 2010年度監査

日 時: 2011年1月19日(水) 10:00~16:00  
 場 所: 国立天文台三鷹キャンパス解析研究棟  
 1F院生セミナー室(三鷹市)  
 出席者: 紀伊恒男, 牧島一夫, 田代 信, 松尾  
 宏, 竹田洋一, 本原顕太郎, 宮下暁彦

VI. 委員会など(「日本天文学会委員会等に関する共通内規」に準拠)

本年度は以下の15の委員会と1の顧問会議において構成メンバー(任期2年の第1年目)により各種活動が行なわれた。

◇欧文研究報告編集顧問会議

2010年より始めたPASJの国際化の第一歩として、編集委員に東アジアより2名程度参加いただくこととし、2010年後半に人選と交渉を行い、2011年より中国、韓国各1名が編集委員を務めている。

11月25日に編集顧問会議を国立天文台で開催し、今後の活動として、外国人の論文査読経験者や有力雑誌の編集長に、PASJの今後について意見を聞くアンケートを実施することとした。

◇欧文研究報告編集委員会

2011年度は、233編の論文が投稿された。通常号を6回、増刊特集号を3回、合計9回発行し、

掲載総論文数186編、総頁数は過去最高の2,488頁となった。通常号では、VERAとはやぶさ大気圏再突入、増刊特集号では、暗黒星雲の全天アトラス、すばる、すざく・MAXIの論文を特集として掲載した。今年から、Yi-Peng Jing(上海天文台)、Hyung Mok Lee(ソウル大)の両氏が編集委員に加わった。

◇天文月報編集委員会

第104巻1号~12号を毎月20日に各号3,200部発行した(総ページ数758頁、総目次10頁)。ホットな話題についての特集記事を組み、啓蒙に関わるいくつかの新シリーズを企画した。また贈呈先の見直しも行った。

◇年会実行委員会

2011年度日本天文学会秋季年会(9月19日~22日・鹿児島大学)を開催した。同春季年会(3月16日~19日・筑波大学)は東日本大震災の影響で中止した。年会の準備にあたっては、1月5日および7月4日に年会実行委員会を国立天文台において開き、プログラムを編成した。

◇天文教育委員会

年会時の公開講演会と天文教育フォーラム(共催)を開催した。2012年度以降開催分についても準備を開始した。ほとんどの検討は随時電子メールで行っているが、秋の年会時に正式の委員会を開いた。講師派遣プロジェクトについては検討を継続するとともに、実際に講師派遣依頼を受け付けて9名の講師の紹介を行った。また、講師紹介ウェブシステム更新の検討を行った。

◇選挙管理委員会

2011年秋季総会に承認される第19期評議員(任期:2012年1月1日~2015年12月31日)候補者の選挙について、定款及び評議員選挙施行細則(「以下細則」)に則り、2011年5月20日~6月20日を投票期間とし、2011年6月21日に開票作業を行った。上位得票者に8名の現評議員が含まれていたため、細則第6条「現評議員の重任は最大5名まで」により候補となる現評議員を5名に絞り、この結果同率当選最下位者が2名となったため、細則第6条「最下位当選者に該当する者が複数の場合は、選挙管理委員会が抽選で順位を定める」より、選挙管理委員会により抽選を行い最終候補者を決定した。結果を天文月報2011年8月



号（7月20日発行）に発表した。

#### ◇林 忠四郎賞選考委員会

天文月報2011年9月号並びにtennetで林 忠四郎賞受賞候補者の推薦と、欧文研究報告論文賞の推薦を会員にお願いした。その中から林忠四郎賞1件、欧文研究報告論文賞2篇を選考し、評議員会に推薦した。

#### ◇研究奨励賞選考委員会

2011年度（第23回）の研究奨励賞に関して会員から推薦された受賞候補者を審議し、選考委員会からは今年度の候補者なしとして評議員会に報告した。

#### ◇天体発見賞選考委員会

2011年の天体発見賞候補者（6氏1グループ2氏、15件）、天体発見功労賞候補者（3氏3件、天文功労賞（長期1氏、短期1氏）を決定し、評議員会に推薦した。

#### ◇内地留学奨学金選考委員会

2012年度の内地留学奨学金奨学生の募集を行い、応募者から1名の奨学生（15万円の支給）を決定した（天文月報2012年1月号参照）。

また、本内地留学制度に関して、特に国立天文台以外の機関に内地留学の指導を依頼する場合に問題となりそうなことが、審議のなかで報告・議論され、その内容を理事会に報告することを結論した。

また今後、本奨学金の申請者を増やす方策の検討を行った。

#### ◇早川幸男基金選考委員会

渡航旅費補助者の募集を年4回行った。延べ28名の応募者（うち2名は滞在費援助希望）から19名（うち2名は滞在費援助）を採択した。今年度は昨年度より応募者数が若干少なかったが、通常のとおり同程度の援助を行った。援助額は約257万円となった。

本会会員の佐藤明達氏より当基金へ寄付を頂いた。ここに深く感謝いたします。

#### ◇ネットワーク委員会

事務所内計算機を常に適正な状態に保持し、重要データ等のバックアップを適切に行なった。年会講演登録料の支払いをクレジットカードで決済

できるシステムの構築を行い、本格運用を2012年度春季年会の支払いより開始した。

#### ◇天文教材委員会

2012年5月21日の金環日食と2012年6月6日の金星の太陽面通過に向けて、日本天文協議会と情報交換しながらその観察法や観察時の注意、さらにはワークシートや学校での教材案などを検討した。

#### ◇ジュニアセッション実行委員会

春季年会（筑波大学予定）時に開催予定だった第13回ジュニアセッションの予稿集（2011年春の講演54件、2010年秋の講演1件を収録）を発行した。口頭・ポスター発表は、年会の中止に伴って実施できなかったが、予稿集は発行できたので、これをもって研究発表を行ったと報告して良いこととし、次回以降のセッションで同内容での講演も可とした。4月～5月にかけて、希望者はWebページにプレゼンやポスターを掲示し、それにコメントを募る試みを行った。その結果、100を超えるコメントが集まり、発表予定だった生徒に送付した。

秋季年会（鹿児島大）においてはポスター発表のみ受け付けて3件の発表があった。

#### ◇男女共同参画委員会

多様な構成メンバーがそれぞれの力を発揮して日本天文学会のより一層の活性化を図ることができるよう、共同参画の努力をまとめ、対外的な活動の窓口としても活動している。2010年春の年会時に第1回男女共同参画タウンミーティングを開催したことが契機となって、天文女性研究者の会が立ち上がった。「男女」に拘ることなく共同参画を進めるため、天文学会の他の委員会との連携、そして男女共同参画学協会連絡会のオブザーバー会員として、可能な範囲で他学会とも連携しながら活動を展開している。

#### ◇衛星設計コンテスト推進委員会

主催団体の一つとして、第19回衛星設計コンテストを行った。村上敏夫氏が審査委員、江副裕一郎氏が企画委員、坂尾太郎氏と岡村定矩理事長が実行委員を務めた。11月12日に最終審査会が東京の学術総合センターで開催され、一次審査を通過した11件の発表と質疑応答があった。審査の結果、設計大賞、アイデア大賞、ジュニア大

賞をはじめ、各主催団体賞が選定された。日本天文学会賞は、東京工業大学チームの『小惑星深部CT観測衛星「ACTIS」』が受賞した。

**VII. 助成金（定款第2章第5条, 7項に該当の事業）**

◇内地留学奨学金：

アマチュアを対象とした内地留学奨学生2名に各12万5千円の支給を行なった。  
（内地留学奨学金選考委員会の項を参照）

◇早川幸男基金：

若手天文研究者の海外での研究活動のための渡航・滞在費の補助として早川幸男基金選考委員会の選定に従い19名に対して総額約257万円の援

助を行なった。（早川幸男基金選考委員会の項を参照）

◇学術交流費（学生の年会参加旅費補助）：

賛助会費をもとに、大学院生などが秋季年会（鹿児島大学）に参加して研究発表をするための一部補助を行なった。なお、今年度は、春季年会（筑波大学）が、震災のため中止となり秋季年会のみの補助となった。（発表者：57名、総額：1,268,000円）

**VIII. 後援事業等（定款第2章第5条6項に該当の事業）**

国際・国内シンポジウムなどの共催1件、後援11件、協賛10件を行った。

承諾日	事業名	宛先（代表者）
2月16日	後援 天体天文学物理若手夏の学校	校長：古沢 圭
2月16日	後援 第58回科学教育研究協議会全国大会	委員長：佐久間 徹
3月 3日	後援 スカイプラネタリウムⅡ	六本木ヒルズアーツセンター
3月 4日	後援 宇宙（天文）を学べる大学 合同進学説明会	大阪教育大学（福江 純）
4月 1日	協賛 Plasma Conference 2011	応用物理学会
4月20日	協賛 第39回 可視化情報シンポジウム	可視化情報学会
4月 8日	後援 第9回ジャパンサイエンス&エンジニアリング	朝日新聞社 (JSEC2011)
5月18日	協賛 DV-X $\alpha$ 研究協会	岡山理科大学
5月20日	協賛 流体力学学会	流体力学学会
5月23日	共催 第53回宇宙科学技術連合講演会	日本宇宙航空学会
5月25日	後援 第1回天文高校生集まれ!! (近畿地区高校生天文活動発表会)	実行委員会：成田 直
5月27日	後援 第25回天文教育普及研究会 年会	代表：大西高司
6月10日	協賛 日本物理学会セミナー「イメージングの科学」	日本物理学会
7月27日	協賛 三鷹太陽系ウォーク	三鷹ネットワーク大学推進機構実行委員会
7月14日	後援 第7回最新の天文学の普及をめざすワークショップ	国立天文台天文学情報センター 縣 秀彦
7月30日	協賛 京都賞記念ワークショップ	(公財法) 稲盛財団 (稲盛和夫)
8月 1日	後援 日本天文学会2011年秋季年会公開講演会	鹿児島市教育委員会教育長 石踊政昭
8月 4日	後援 平成22年度「三鷹・星と宇宙の日」(三鷹公開日)	国立天文台長 (観山正見)
8月22日	協賛 可視化情報全国講演会 (富山2011)	可視化情報学会会長：岡本孝司
11月 9日	後援 第2回「星なかまの集い～天文楽サミット」	西はりま天文台公園長：黒田武彦
12月 7日	協賛 第7回光応用新産業創出フォーラム	応用物理学会 分科会 日本光学会
12月22日	協賛 第37回日本光学会シンポジウム	応用物理学会 日本光学会 応用物理研究所

### IX. 民間の各賞・研究助成等への推薦（定款第2章第5条5項に該当の事業）

民間財団等の各種の賞および研究助成に対し、天文月報・学会ホームページで候補者を広く募り、理事長・副理事長が中心となって選考した上で学会としての正式の推薦を行った。（東レ科学技術賞1，東レ科学技術助成1，日本学術振興会育志賞1，井上学術賞1，日本学術振興会賞2）

### X. 事務所活動（定款第1章第2条）

日本天文学会事務所では、事務長を含む常勤職員2名と約10名の非常勤職員により、本会の各事業に関する実際的な業務活動が行われた。また宮下事務長が2011年末で退職した。

### XI. 補助金・その他

- 2012年3月 春季年会（京都大学）での公開講演会に、科学研究費補助金（研究成果公開促進費「研究成果公開発表(B)」として文部科学省

研究振興局学術研究助成課より100万円を受領内定した。

- 2011年3月 春季年会（筑波大学）での公開講演会に、科学研究費補助金（研究成果公開促進費「研究成果公開発表(B)」として文部科学省研究振興局学術研究助成課より100万円を受領したが、震災のため公開講演会は中止となり、準備のためそれまでに支出していた金額以外は返納した。
- 欧文研究報告(Publications of the Astronomical Society of Japan: PASJ)に「科学研究費補助金(学術定期刊行物)」として日本学術振興会より750万円を受領した。
- 会員からのPASJ 寄贈74部のうち43部を発展途上国及びPASJ 購入困難な国に寄贈(25ヶ国)している。
- 創立100周年記念出版事業基金の残金を有効に利用するための次期事業の検討を行った。

### 会員数

2011年12月31日現在の会員数は以下のとおりである。

2010年12月31日	正会員（内学生）	準会員	団体会員	賛助会員	合計
	1,759 (364)	1,210	37	43	3,049
入会	95 (88)	37	0	1	133
退会	81 (32)	72	0	1	154
移籍（増）	3 (0)	24			
移籍（減）	24 (5)	3			
正会員へ（学生減）	(65)				
2011年12月31日	1,752 (350)	1,196	37	43	3,028

（注：移籍とは正会員，準会員との間の移動のことを指す）

定款第12条に基づき、2月5日の評議員会議決を経て、正会員15名，準会員10名が2009年度からの会費未納のため除名された。

（文責 庶務理事：本原顕太郎）

## 【第2号議案】

社団法人 日本天文学会

## 2011年度（2011年1月1日～12月31日まで）決算報告書（案）

## 貸借対照表

2011年12月31日現在

（単位：円）

〈一般会計〉

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,423,151	18,732,039	△2,308,888
未収会費	1,881,000	2,100,000	△219,000
未収金	10,377,078	4,325,309	6,051,769
前払金	475,785	412,438	63,347
貯蔵品	2,963,259	3,328,180	△364,921
<b>流動資産合計</b>	<b>32,120,273</b>	<b>28,897,966</b>	<b>3,222,307</b>
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金・基本	12,310,000	12,310,000	0
<b>基本財産合計</b>	<b>12,310,000</b>	<b>12,310,000</b>	<b>0</b>
(2) 特定資産			
退職給付引当預金	1,640,727	1,584,427	56,300
減価償却引当預金	5,137,803	5,113,280	24,523
<b>特定資産合計</b>	<b>6,778,530</b>	<b>6,697,707</b>	<b>80,823</b>
(3) その他固定資産			
什器備品	179,742	503,060	△323,318
<b>その他固定資産合計</b>	<b>179,742</b>	<b>503,060</b>	<b>△323,318</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>19,268,272</b>	<b>19,510,767</b>	<b>△242,495</b>
<b>資産合計</b>	<b>51,388,545</b>	<b>48,408,733</b>	<b>2,979,812</b>
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,394,172	4,033,811	△639,639
前受金	1,808,000	1,097,550	710,450
前受会費	2,152,000	2,213,000	△61,000
預り金	117,480	0	117,480
仮受金	15,000	21,000	△6,000
<b>流動負債合計</b>	<b>7,486,652</b>	<b>7,365,361</b>	<b>121,291</b>
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,640,727	1,584,427	56,300
<b>固定負債合計</b>	<b>1,640,727</b>	<b>1,584,427</b>	<b>56,300</b>
<b>負債合計</b>	<b>9,127,379</b>	<b>8,949,788</b>	<b>177,591</b>
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	42,261,166	39,458,945	2,802,221
(うち特定資産への充当額)	5,137,803	5,113,280	24,523
<b>正味財産合計</b>	<b>42,261,166</b>	<b>39,458,945</b>	<b>2,802,221</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>51,388,545</b>	<b>48,408,733</b>	<b>2,979,812</b>

## 正味財産増減計算書

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

〈一般会計〉

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	48,727	50,113	△1,386
基本財産受取利息	48,727	50,113	△1,386
②特定資産運用益	24,583	24,539	44
退職給与引当預金受取利息	60	0	60
減価償却引当預金受取利息	24,523	24,539	△16
③受取会費	39,687,000	40,009,000	△322,000
正会員受取会費(1406人+5000円) (*1)	25,313,000	25,182,000	131,000
学生会員受取会費(340人)	4,420,000	4,745,000	△325,000
準会員受取会費(1198人)	9,584,000	9,712,000	△128,000
団体会員受取会費(37団体)	370,000	370,000	0
④事業収益	38,556,056	31,005,224	7,550,832
・欧文事業収益	29,645,743	17,047,561	12,598,182
購読料収益	4,869,725	3,792,250	1,077,475
掲載料収益 (*2)	23,180,938	12,359,696	10,821,242
別刷代收収益	1,595,080	895,615	699,465
・天文月報事業収益	3,025,599	3,668,461	△642,862
購読料収益	566,739	627,016	△60,277
別刷代收収益	310,035	886,950	△576,915
広告料収益	2,148,825	2,154,495	△5,670
・年会事業収益	5,698,570	8,026,150	△2,327,580
予稿集収益	1,300,000	1,115,500	184,500
登録料収益	4,020,000	6,508,000	△2,488,000
年会雑収益	378,570	402,650	△24,080
・印税収益	32,000	2,061,942	△2,029,942
星座早見印税	0	2,037,000	△2,037,000
その他の印税収益	32,000	24,942	7,058
・その他の事業収益	154,144	201,110	△46,966
普及物品頒布収益	154,144	201,110	△46,966
⑤受取補助金等	9,016,005	7,800,000	1,216,005
受取国庫補助金	8,166,005	7,800,000	366,005
刊行物受取補助金	7,500,000	7,800,000	△300,000
公開講演会受取補助金	666,005	0	666,005
受取地方公共団体補助金	850,000	0	850,000
年会受取補助金	850,000	0	850,000
⑥受取寄付金	128,230	77,455	50,775
受取寄付金	128,230	77,455	50,775
⑦雑収益	469,478	796,175	△326,697
受取利息	27,433	21,065	6,368
雑収益	41,045	105,000	△63,955
受取事務手数料	401,000	469,000	△68,000
経常収益計	87,930,079	79,561,396	8,368,683
(2) 経常費用			
①事業費	67,827,944	56,449,031	11,378,913
・欧文事業費	42,879,525	30,813,711	12,065,814
直接出版費	27,247,756	17,520,291	9,727,465
別刷印刷費	338,915	138,180	200,735

給与手当	6,352,068	6,168,442	183,626
謝金	7,074,670	5,134,870	1,939,800
送料運搬費	1,536,854	1,401,842	135,012
消耗品費	75,072	225,684	△ 150,612
雑費	254,190	224,402	29,788
<b>・天文月報事業費</b>	<b>14,183,359</b>	<b>14,397,775</b>	<b>△ 214,416</b>
直接出版費	7,711,615	7,605,040	106,575
別刷印刷費	150,861	491,502	△ 340,641
給与手当	1,274,583	1,299,500	△ 24,917
謝金	1,322,000	1,574,640	△ 252,640
送料運搬費	3,175,193	3,011,527	163,666
消耗品費	511,291	276,038	235,253
雑費	37,816	139,528	△ 101,712
<b>・年会事業費</b>	<b>6,720,114</b>	<b>7,845,710</b>	<b>△ 1,125,596</b>
予稿集印刷費	2,105,389	1,986,890	118,499
謝金（アルバイト諸経費）	996,407	1,367,720	△ 371,313
送料運搬費	279,248	236,462	42,786
会場費	1,359,007	1,516,166	△ 157,159
消耗品費	211,996	350,756	△ 138,760
給与手当	1,299,866	1,299,500	366
旅費交通費	238,220	348,000	△ 109,780
保育室運営経費	179,396	261,932	△ 82,536
雑費	50,585	26,495	24,090
<b>・その他の事業費</b>	<b>4,044,946</b>	<b>3,391,835</b>	<b>653,111</b>
天体発見賞経費	1,787,115	610,653	1,176,462
公開講演会経費	1,538,690	1,392,087	146,603
普及物品制作費経費	100,622	146,167	△ 45,545
衛星設計コンテスト経費	56,204	50,772	5,432
ジュニアセッション経費	304,114	451,789	△ 147,675
天文教育フォーラム経費	20,000	0	20,000
広報活動経費	217,676	0	217,676
世界天文年展示経費	20,525	740,367	△ 719,842
<b>②管理費</b>	<b>17,299,914</b>	<b>22,157,814</b>	<b>△ 4,857,900</b>
給与手当	7,879,148	8,479,789	△ 600,641
謝金	544,440	521,000	23,440
法定福利費	1,236,800	1,268,921	△ 32,121
退職給付費用	271,560	459,900	△ 188,340
会議費	150,809	252,472	△ 101,663
旅費交通費	932,170	992,380	△ 60,210
送料通信費	416,831	879,527	△ 462,696
減価償却費	323,318	706,918	△ 383,600
消耗什器備品費	245,170	596,495	△ 351,325
消耗品費	901,251	728,357	172,894
修繕費	0	0	0
印刷製本費	80,088	1,491,824	△ 1,411,736
書籍購入費	7,134	14,594	△ 7,460
光熱水料費	219,656	242,584	△ 22,928
賃借料	2,123,083	2,139,965	△ 16,882
保険料	12,320	12,320	0
租税公課	536,100	450,600	85,500
支払負担金	3,500	13,500	△ 10,000
諸手数料	404,714	432,115	△ 27,401
女子理系進路選択支援業務委託費	0	1,283,373	△ 1,283,373
徴収不能額 <sup>(※3)</sup>	800,000	1,130,000	△ 330,000
雑費	211,822	61,180	150,642

経常費用計	85,127,858	78,155,056	6,972,802
当期経常増減額	2,802,221	1,406,340	1,395,881
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,802,221	1,406,340	1,395,881
一般正味財産期首残高	39,458,945	38,052,605	1,406,340
一般正味財産期末残高	42,261,166	39,458,945	2,802,221
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	9,016,005	7,800,000	1,216,005
受取国庫補助金	8,166,005	7,800,000	366,005
刊行物補助金	7,500,000	7,800,000	△300,000
公開講演会補助金	666,005	0	666,005
受取地方補助金	850,000	0	850,000
年会補助金	850,000	0	850,000
一般正味財産への振替額	△9,016,005	△7,800,000	△1,216,005
一般正味財産への振替額	△9,016,005	△7,800,000	△1,216,005
国庫補助金	△8,166,005	△7,800,000	△366,005
地方公共団体補助金	△850,000	0	△850,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	42,261,166	39,458,945	2,802,221

(※1) 13,000円は2011年会費免除で、免除申込が遅かったため、学生割引ができないので、18,000円と13,000円の差額5,000円が正会員会費となったため

(※2) PASJ掲載料収益のうち、E-OPEN（論文アクセス制限解除）など5,326,755円

(※3) 2011年正会員除名者（15人）・・・未収会費18,000円×15人×2年＝540,000円  
2011年準会員除名者（10人）・・・未収会費8,000円×10人×2年＝160,000円  
2011年正と準会員除名者（15+10人）・・・未収金2,000円×25人×2年＝100,000円  
徴収不能額合計 800,000円

## 収支計算書

2011年 1月 1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

〈一般会計〉

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入	55,000	48,727	6,273	
基本財産利息収入	55,000	48,727	6,273	
②特定資産運用収入	29,000	24,583	4,417	
退職給付引当預金利息収入	5,000	60	4,940	
減価償却引当預金利息収入	24,000	24,523	△523	
③会費収入	39,490,000	39,687,000	△197,000	
正会員会費収入(1406人+5000円) <sup>(※1)</sup>	25,020,000	25,313,000	△293,000	
学生会員会費収入(340人)	4,394,000	4,420,000	△26,000	
準会員会費収入(1198人)	9,696,000	9,584,000	112,000	
団体会員会費収入(37団体)	380,000	370,000	10,000	
④事業収入	33,187,500	38,556,056	△5,368,556	
・欧文事業収入	20,681,500	29,645,743	△8,964,243	
購読料収入	4,462,500	4,869,725	△407,225	
掲載料収入 <sup>(※2)</sup>	14,119,000	23,180,938	△9,061,938	
別刷代収入	2,100,000	1,595,080	504,920	
・天文月報事業収入	3,450,000	3,025,599	424,401	
購読料収入	600,000	566,739	33,261	
別刷代収入	750,000	310,035	439,965	
広告料収入	2,100,000	2,148,825	△48,825	
・年会事業収入	8,326,000	5,698,570	2,627,430	
予稿集収入	1,576,000	1,300,000	276,000	
登録料収入	6,500,000	4,020,000	2,480,000	
年会雑収入	250,000	378,570	△128,570	
・印税収入	530,000	32,000	498,000	
星座早見印税収入	500,000	0	500,000	
その他の印税収入	30,000	32,000	△2,000	
・その他の事業収入	200,000	154,144	45,856	
普及物品頒布収入	200,000	154,144	45,856	
⑤補助金収入	8,900,000	9,016,005	△116,005	
国庫補助金収入	8,500,000	8,166,005	333,995	
刊行物補助金	7,500,000	7,500,000	0	
公開講演会補助	1,000,000	666,005	333,995	
地方公共団体補助金収入	400,000	850,000	△450,000	
年会補助金(春・秋)	400,000	850,000	△450,000	
⑥寄付金収入	150,000	128,230	21,770	
寄付金収入	150,000	128,230	21,770	
⑦雑収入	587,000	469,478	117,522	
受取利息収入	37,000	27,433	9,567	
その他の収入	200,000	41,045	158,955	
事務手数料収入	350,000	401,000	△51,000	
事業活動収入計	82,398,500	87,930,079	△5,531,579	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	65,186,748	67,463,023	△2,276,275	
・欧文事業費支出	34,501,748	42,533,062	△8,031,314	
直接印刷費支出	19,564,748	26,901,293	△7,336,545	
別刷印刷費支出	315,000	338,915	△23,915	
人件費支出	6,100,000	6,352,068	△252,068	



謝金支出	6,640,000	7,074,670	△ 434,670
送料運搬費支出	1,336,000	1,536,854	△ 200,854
消耗品費支出	170,000	75,072	94,928
雑支出	376,000	254,190	121,810
<b>・天文月報事業費支出</b>	<b>15,700,000</b>	<b>14,183,359</b>	<b>1,516,641</b>
直接出版費支出	8,700,000	7,711,615	988,385
別刷印刷費支出	500,000	150,861	349,139
人件費支出	1,300,000	1,274,583	25,417
謝金支出	1,500,000	1,322,000	178,000
送料運搬費支出	3,000,000	3,175,193	△ 175,193
消耗品費支出	600,000	511,291	88,709
雑支出	100,000	37,816	62,184
<b>・年会事業費支出</b>	<b>9,750,000</b>	<b>6,720,114</b>	<b>3,029,886</b>
予稿集印刷費支出	2,300,000	2,105,389	194,611
謝金（アルバイト諸経費）支出	1,650,000	996,407	653,593
送料運搬費支出	300,000	279,248	20,752
会場費支出	2,800,000	1,359,007	1,440,993
消耗品費支出	300,000	211,996	88,004
人件費支出	1,300,000	1,299,866	134
旅費交通費支出	400,000	238,220	161,780
保育室運営経費支出	500,000	179,396	320,604
雑支出	200,000	50,585	149,415
<b>・その他の事業費支出</b>	<b>5,235,000</b>	<b>4,026,488</b>	<b>1,208,512</b>
天体発見賞経費支出	900,000	1,787,115	△ 887,115
公開講演会経費支出	2,111,000	1,538,690	572,310
普及物品制作費支出	70,000	82,164	△ 12,164
衛星設計コンテスト経費支出	60,000	56,204	3,796
ジュニアセッション経費支出	600,000	304,114	295,886
天文教育フォーラム経費支出	344,000	20,000	324,000
講師派遣プロジェクト経費支出	150,000	0	150,000
広報活動経費支出	500,000	217,676	282,324
世界天文年展示経費	500,000	20,525	479,475
<b>②管理費支出</b>	<b>18,112,000</b>	<b>16,920,296</b>	<b>1,191,704</b>
給与手当支出	8,900,000	7,879,148	1,020,852
謝金支出	300,000	544,440	△ 244,440
法定福利費支出	1,350,000	1,236,800	113,200
退職給付支出	0	215,260	△ 215,260
会議費支出	250,000	150,809	99,191
旅費交通費支出	1,150,000	932,170	217,830
送料通信費支出	900,000	416,831	483,169
消耗什器備品費支出	250,000	245,170	4,830
消耗品費支出	700,000	901,251	△ 201,251
修繕費支出	30,000	0	30,000
印刷製本費支出	400,000	80,088	319,912
書籍購入費支出	2,000	7,134	△ 5,134
光熱水料費支出	300,000	219,656	80,344
賃借料支出	2,200,000	2,123,083	76,917
保険料支出	15,000	12,320	2,680
租税公課支出	500,000	536,100	△ 36,100
負担金支出	15,000	3,500	11,500
諸手数料支出	350,000	404,714	△ 54,714
徴収不能額支出	100,000	800,000	△ 700,000
雑支出	400,000	211,822	188,178
<b>事業活動支出計</b>	<b>83,298,748</b>	<b>84,383,319</b>	<b>△ 1,084,571</b>

<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 900,248</b>	<b>3,546,760</b>	<b>△ 4,447,008</b>	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	0	185,860	△ 185,860	
退職給与引当預金取崩収入	0	185,860	△ 185,860	
<b>投資活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>185,860</b>	<b>△ 185,860</b>	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	453,200	266,683	186,517	
退職給付引当預金取得支出	429,200	242,160	187,040	
減価償却引当預金取得支出	24,000	24,523	△ 523	
<b>投資活動支出計</b>	<b>453,200</b>	<b>266,683</b>	<b>186,517</b>	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>△ 453,200</b>	<b>△ 80,823</b>	<b>△ 372,377</b>	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
<b>財務活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
2. 財務活動支出				
<b>財務活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
IV 予備費支出	100,000	—	100,000	
<b>当期収支差額</b>	<b>△ 1,453,448</b>	<b>3,465,937</b>	<b>△ 4,919,385</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>14,516,920</b>	<b>18,204,425</b>	<b>△ 3,687,505</b>	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>13,063,472</b>	<b>21,670,362</b>	<b>△ 8,606,890</b>	

- (※1) 13,000円は2011年会費免除で、免除申込が遅かったため、学生割引ができないので、18,000円と13,000円の差額5,000円が正会員会費となったため
- (※2) PASJ掲載料収入のうち、E-OPEN（論文アクセス制限解除）など5,326,755円

# 《特別会計》

## 学術交流費会計

### 貸借対照表(案)

2011年12月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,153,689	3,868,137	285,552
未収会費	0	90,000	△ 90,000
流動資産合計	4,153,689	3,958,137	195,552
資産合計	4,153,689	3,958,137	195,552
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	4,153,689	3,958,137	195,552
正味財産合計	4,153,689	3,958,137	195,552
負債及び正味財産合計	4,153,689	3,958,137	195,552

### 正味財産増減計算書(案)

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	1,470,000	1,500,000	△ 30,000
賛助会員受取会費	1,470,000	1,500,000	△ 30,000
雑収益	582	1,107	△ 525
受取利息	582	1,107	△ 525
経常収益計	1,470,582	1,501,107	△ 30,525
(2) 経常費用			
事業費	1,268,000	1,230,000	38,000
学術交流事業費	1,268,000	1,230,000	38,000
管理費	7,030	5,025	2,005
雑費	7,030	5,025	2,005
経常費用計	1,275,030	1,235,025	40,005
当期経常増減額	195,552	266,082	△ 70,530
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	195,552	266,082	△ 70,530
一般正味財産期首残高	3,958,137	3,692,055	266,082
一般正味財産期末残高	4,153,689	3,958,137	195,552
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	4,153,689	3,958,137	195,552

### 収支計算書(案)

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	1,200,000	1,470,000	△ 270,000	
賛助会員会費収入	1,200,000	1,470,000	△ 270,000	
雑収入	2,500	582	1,918	
受取利息収入	2,500	582	1,918	
事業活動収入計	1,202,500	1,470,582	△ 268,082	
2. 事業活動支出				
事業費支出	1,196,500	12,680,000	△ 71,500	
学術交流費支出	1,196,500	12,680,000	△ 71,500	
管理費支出	6,000	7,030	△ 1,030	
雑支出	6,000	7,030	△ 1,030	
事業活動支出計	1,202,500	1,275,030	△ 72,530	
事業活動収支差額	0	195,552	△ 195,552	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	195,552	△ 195,552	
前期繰越収支差額	3,770,630	3,958,137	△ 187,507	
次期繰越収支差額	3,770,630	4,153,689	△ 383,059	

## 内地留学奨学金基金会計

## 貸借対照表(案)

2011年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
内地留学奨学金積立資産	2,107,956	2,359,848	△ 251,892
<b>特定資産合計</b>	<b>2,107,956</b>	<b>2,359,848</b>	<b>△ 251,892</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,107,956</b>	<b>2,359,848</b>	<b>△ 251,892</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,107,956</b>	<b>2,359,848</b>	<b>△ 251,892</b>
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	2,107,956	2,359,848	△ 251,892
(うち特定資産への充当額)	2,107,956	2,359,848	△ 251,892
<b>正味財産合計</b>	<b>2,107,956</b>	<b>2,359,848</b>	<b>△ 251,892</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>2,107,956</b>	<b>2,359,848</b>	<b>△ 251,892</b>

## 正味財産増減計算書(案)

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	418	16,268	△ 15,850
内地留学奨学金積立資産受取利息	418	16,268	△ 15,850
<b>経常収益計</b>	<b>418</b>	<b>16,268</b>	<b>△ 15,850</b>
(2) 経常費用			
事業費	250,000	128,000	122,000
内地留学奨学金事業費	250,000	128,000	122,000
管理費	2,310	315	1,995
雑費	2,310	315	1,995
<b>経常費用計</b>	<b>252,310</b>	<b>128,315</b>	<b>123,995</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 251,892</b>	<b>△ 112,047</b>	<b>△ 139,845</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 経常外費用			
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 251,892</b>	<b>△ 112,047</b>	<b>△ 139,845</b>
一般正味財産期首残高	2,359,848	2,471,895	△ 112,047
一般正味財産期末残高	2,107,956	2,359,848	△ 251,892
II 指定正味財産増減の部			
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,107,956	2,359,848	△ 251,892

## 収支計算書(案)

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	5,000	418	4,582	
内地留学奨学金積立資産取利息収入	5,000	418	4,582	
<b>事業活動収入計</b>	<b>5,000</b>	<b>418</b>	<b>4,582</b>	
2. 事業活動支出				
事業費支出	250,000	250,000	0	
内地留学奨学金支出	250,000	250,000	0	
管理費支出	2,000	2,310	△ 310	
雑支出	2,000	2,310	△ 310	
<b>事業活動支出計</b>	<b>252,000</b>	<b>252,310</b>	<b>△ 310</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 247,000</b>	<b>△ 251,892</b>	<b>4,892</b>	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	247,000	251,892	△ 4,892	
内地留学奨学金積立資産取崩収入	247,000	251,892	△ 4,892	
<b>投資活動収入計</b>	<b>247,000</b>	<b>251,892</b>	<b>△ 4,892</b>	
2. 投資活動支出				
<b>投資活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>247,000</b>	<b>251,892</b>	<b>△ 4,892</b>	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
<b>財務活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
2. 財務活動支出				
<b>財務活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

## 研究奨励賞基金会計

## 貸借対照表(案)

2011年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
研究奨励賞積立資産	2,897,900	3,481,668	△ 583,768
特定資産合計	2,897,900	3,481,668	△ 583,768
固定資産合計	2,897,900	3,481,668	△ 583,768
資産合計	2,897,900	3,481,668	△ 583,768
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	2,897,900	3,481,668	△ 583,768
(うち特定資産への充当額)	2,897,900	3,481,668	△ 583,768
正味財産合計	2,897,900	3,481,668	△ 583,768
負債及び正味財産合計	2,897,900	3,481,668	△ 583,768

## 正味財産増減計算書(案)

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	3,828	343	3,485
研究奨励賞積立資産受取利息	3,828	343	3,485
経常収益計	3,828	343	3,485
(2) 経常費用			
事業費	556,791	300,000	256,791
研究奨励賞事業費 <sup>(*)</sup>	556,791	300,000	256,791
管理費	30,805	85,206	△ 54,401
旅費交通費	29,200	34,200	△ 5,000
雑費	1,605	51,006	△ 49,401
経常費用計	587,596	385,206	202,390
当期経常増減額	△ 583,768	△ 384,863	△ 198,905
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 583,768	△ 384,863	△ 198,905
一般正味財産期首残高	3,481,668	3,866,531	△ 384,863
一般正味財産期末残高	2,897,900	3,481,668	△ 583,768
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,897,900	3,481,668	△ 583,768

## 収支計算書(案)

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	1,000	3,828	△ 2,828	
研究奨励賞積立資産利息収入	1,000	3,828	△ 2,828	
事業活動収入計	1,000	3,828	△ 2,828	
2. 事業活動支出				
事業費支出	300,000	556,791	△ 256,791	
研究奨励賞支出 <sup>(*)</sup>	300,000	556,791	△ 256,791	
管理費支出	80,000	30,805	49,195	
旅費交通費支出	50,000	29,200	20,800	
雑支出	30,000	1,605	28,395	
事業活動支出計	380,000	587,596	△ 207,596	
事業活動収支差額	△ 379,000	△ 583,768	204,768	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	379,000	583,768	△ 204,768	
研究奨励賞積立資産取崩収入	379,000	583,768	△ 204,768	
投資活動収入計	379,000	583,768	△ 204,768	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	379,000	583,768	△ 204,768	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

(\*) 内訳・・・研究奨励賞賞金100,000円×3人=300,000円 メダル・賞状256,791円

## 早川幸男基金会計

## 貸借対照表(案)

2011年12月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
早川幸男基金積立資産	54,343,504	44,023,040	10,320,464
特定資産合計	54,343,504	44,023,040	10,320,464
固定資産合計	54,343,504	44,023,040	10,320,464
資産合計	54,343,504	44,023,040	10,320,464
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	270,560	△270,560
流動負債合計	0	270,560	△270,560
負債合計	0	270,560	△270,560
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	54,343,504	43,752,480	10,591,024
(うち特定資産への充当額)	54,343,504	44,023,040	10,320,464
正味財産合計	54,343,504	43,752,480	10,591,024
負債及び正味財産合計	54,343,504	44,023,040	10,320,464

## 正味財産増減計算書(案)

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	177,751	105,507	72,244
早川幸男基金積立資産受取利息	177,751	105,507	72,244
受取寄付金	13,000,000	4,000,000	9,000,000
受取寄付金	13,000,000	4,000,000	9,000,000
経常収益計	13,177,751	4,105,507	9,072,244
(2) 経常費用			
事業費	2,574,127	2,553,033	21,094
早川幸男基金事業費	2,574,127	2,553,033	21,094
管理費	12,600	8,085	4,515
雑費	12,600	8,085	4,515
経常費用計	2,586,727	2,561,118	25,609
当期経常増減額	10,591,024	1,544,389	9,046,635
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	10,591,024	1,544,389	9,046,635
一般正味財産期首残高	43,752,480	42,208,091	1,544,389
一般正味財産期末残高	54,343,504	43,752,480	10,591,024
II 指定正味財産増減の部			
寄付金収入	13,000,000	4,000,000	9,000,000
寄付金収入	13,000,000	4,000,000	9,000,000
一般正味財産への振替額	△13,000,000	△4,000,000	△9,000,000
一般正味財産への振替額	△13,000,000	△4,000,000	△9,000,000
寄付金	△13,000,000	△4,000,000	△9,000,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	54,343,504	43,752,480	10,591,024

## 収支計算書(案)

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	182,000	177,751	4,249	
早川幸男基金積立資産利息収入	182,000	177,751	4,249	
寄付金収入	1,000,000	13,000,000	△12,000,000	
寄付金収入	1,000,000	13,000,000	△12,000,000	
事業活動収入計	1,182,000	13,177,751	△11,995,751	
2. 事業活動支出				
事業費支出	2,700,000	2,574,127	125,873	
早川幸男基金支出	2,700,000	2,574,127	125,873	
管理費支出	10,000	12,600	△2,600	
雑支出	10,000	12,600	△2,600	
事業活動支出計	2,710,000	2,586,727	123,273	
事業活動収支差額	△1,528,000	10,591,024	△12,119,024	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	1,528,000	2,857,287	△1,329,287	
早川幸男基金積立資産取崩収入	1,528,000	2,857,287	△1,329,287	
投資活動収入計	1,528,000	2,857,287	△1,329,287	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	0	13,177,751	△13,177,751	
早川幸男基金積立資産取得支出	0	13,177,751	△13,177,751	
投資活動支出計	0	13,177,751	△13,177,751	
投資活動収支差額	1,528,000	△10,320,464	11,848,464	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	270,560	△270,560	
前期繰越収支差額	0	△270,560	270,560	
次期繰越収支差額	0	0	0	

## 林 忠四郎賞基金会計

## 貸借対照表(案)

2011年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
林 忠四郎賞積立資産	10,887,628	11,234,548	△ 346,920
<b>特定資産合計</b>	<b>10,887,628</b>	<b>11,234,548</b>	<b>△ 346,920</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>10,887,628</b>	<b>11,234,548</b>	<b>△ 346,920</b>
<b>資産合計</b>	<b>10,887,628</b>	<b>11,234,548</b>	<b>△ 346,920</b>
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	10,887,628	11,234,548	△ 346,920
(うち特定資産への充当額)	10,887,628	11,234,548	△ 346,920
<b>正味財産合計</b>	<b>10,887,628</b>	<b>11,234,548</b>	<b>△ 346,920</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>10,887,628</b>	<b>11,234,548</b>	<b>△ 346,920</b>

## 正味財産増減計算書(案)

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	3,290	20,611	△ 17,321
林 忠四郎賞積立資産受取利息	3,290	20,611	△ 17,321
<b>経常収益計</b>	<b>3,290</b>	<b>20,611</b>	<b>△ 17,321</b>
(2) 経常費用			
事業費	300,000	300,000	0
林 忠四郎賞事業費	300,000	300,000	0
管理費	50,210	92,400	△ 42,190
旅費交通費	0	71,120	△ 71,120
雑費	50,210	21,280	28,930
<b>経常費用計</b>	<b>350,210</b>	<b>392,400</b>	<b>△ 42,190</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 346,920</b>	<b>△ 371,789</b>	<b>24,869</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 346,920</b>	<b>△ 371,789</b>	<b>24,869</b>
一般正味財産期首残高	11,234,548	11,606,337	△ 371,789
一般正味財産期末残高	10,887,628	11,234,548	△ 346,920
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	10,887,628	11,234,548	△ 346,920

## 収支計算書(案)

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	30,000	3,290	26,710	
林 忠四郎賞積立資産利息収入	30,000	3,290	26,710	
<b>事業活動収入計</b>	<b>30,000</b>	<b>3,290</b>	<b>26,710</b>	
2. 事業活動支出				
事業費支出	300,000	300,000	0	
林 忠四郎賞支出	300,000	300,000	0	
管理費支出	120,000	50,210	69,790	
旅費交通費支出	100,000	0	100,000	
雑支出	20,000	50,210	△ 30,210	
<b>事業活動支出計</b>	<b>420,000</b>	<b>350,210</b>	<b>69,790</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 390,000</b>	<b>△ 346,920</b>	<b>△ 43,080</b>	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	390,000	346,920	43,080	
林 忠四郎賞積立資産取崩収入	390,000	346,920	43,080	
<b>投資活動収入計</b>	<b>390,000</b>	<b>346,920</b>	<b>43,080</b>	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>390,000</b>	<b>346,920</b>	<b>43,080</b>	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

## 創立100周年記念出版事業基金会計

## 貸借対照表(案)

2011年12月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
創立100周年記念出版事業積立資産	2,005,589	2,005,130	459
特定資産合計	2,005,589	2,005,130	459
固定資産合計	2,005,589	2,005,130	459
資産合計	2,005,589	2,005,130	459
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	2,005,589	2,005,130	459
(うち特定資産への充当額)	2,005,589	2,005,130	459
正味財産合計	2,005,589	2,005,130	459
負債及び正味財産合計	2,005,589	2,005,130	459

## 正味財産増減計算書(案)

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	459	1,947	△1,488
創立100周年記念出版事業積立資産受取利息	459	1,947	△1,488
経常収益計	459	1,947	△1,488
(2) 経常費用			
事業費	0	150,394	△150,394
創立100周年記念出版事業費	0	150,394	△150,394
経常費用計	0	150,394	△150,394
当期経常増減額	459	△148,447	148,906
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	459	△148,447	148,906
一般正味財産期首残高	2,005,130	2,153,577	△148,447
一般正味財産期末残高	2,005,589	2,005,130	459
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,005,589	2,005,130	459

## 収支計算書(案)

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	10,000	459	9,541	
創立100周年記念出版事業積立資産利息収入	10,000	459	9,541	
事業活動収入計	10,000	459	9,541	
2. 事業活動支出				
管理費支出	120,000	0	120,000	
旅費交通費支出	100,000	0	100,000	
雑支出	20,000	0	20,000	
事業活動支出計	120,000	0	120,000	
事業活動収支差額	△110,000	459	△110,459	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	110,000	0	110,000	
創立100周年記念出版事業積立資産取崩収入	110,000	0	110,000	
投資活動収入計	110,000	0	110,000	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	0	459	459	
創立100周年記念出版事業積立資産取得支出	0	459	459	
投資活動支出計	0	459	459	
投資活動収支差額	110,000	△459	110,459	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	



## 貸借対照表総括表

2011年12月31日現在

(単位:円)

科目	一般会計	学術交流費会計	内地留学奨学金	研究奨励賞基金	早川幸男基金	林志四郎賞基金	創100周年記念	内部取引消去	合計
I 資産の部									
1. 流動資産									
現金預金	16,423,151	4,153,689	0	0	0	0	0		20,576,840
未収会費	1,881,000	0	0	0	0	0	0		1,881,000
未収金	10,377,078	0	0	0	0	0	0		10,377,078
前払金	475,785	0	0	0	0	0	0		475,785
貯蔵品	2,963,259	0	0	0	0	0	0		2,963,259
流動資産合計	32,120,273	4,153,689	0	0	0	0	0		36,273,962
2. 固定資産									
(1) 基本財産									
定期預金・基本	12,310,000	0	0	0	0	0	0		12,310,000
基本財産合計	12,310,000	0	0	0	0	0	0		12,310,000
(2) 特定資産									
退職給付引当預金	1,640,727	0	0	0	0	0	0		1,640,727
減価償却引当預金	5,137,803	0	0	0	0	0	0		5,137,803
内地留学奨学金積立資産	0	0	2,107,956	0	0	0	0		2,107,956
研究奨励賞積立資産	0	0	0	2,897,900	0	0	0		2,897,900
早川幸男基金積立資産	0	0	0	0	54,343,504	0	0		54,343,504
林志四郎賞積立資産	0	0	0	0	0	10,887,628	0		10,887,628
創100周年記念出版事業積立資産	0	0	0	0	0	0	2,005,589		2,005,589
特定資産合計	6,778,530	0	2,107,956	2,897,900	54,343,504	10,887,628	2,005,589		79,021,107
(3) その他固定資産									
什器備品	179,742	0	0	0	0	0	0		179,742
その他固定資産合計	179,742	0	0	0	0	0	0		179,742
固定資産合計	19,268,272	0	2,107,956	2,897,900	54,343,504	10,887,628	2,005,589		91,510,849
資産合計	51,388,545	4,153,689	2,107,956	2,897,900	54,343,504	10,887,628	2,005,589		127,784,811
II 負債の部									
1. 流動負債									
未払金	3,394,172	0	0	0	0	0	0		3,394,172
前受金	1,808,000	0	0	0	0	0	0		1,808,000
前受会費	2,152,000	0	0	0	0	0	0		2,152,000
預り金	117,480	0	0	0	0	0	0		117,480
仮受金	15,000	0	0	0	0	0	0		15,000
流動負債合計	7,486,652	0	0	0	0	0	0		7,486,652
2. 固定負債									
退職給付引当金	1,640,727	0	0	0	0	0	0		1,640,727
固定負債合計	1,640,727	0	0	0	0	0	0		1,640,727
負債合計	9,127,379	0	0	0	0	0	0		9,127,379
III 正味財産の部									
1. 指定正味財産									
指定正味財産合計	0	0	0	0	0	0	0		0
2. 一般正味財産									
(うち特定資産への充当額)	42,261,166	4,153,689	2,107,956	2,897,900	54,343,504	10,887,628	2,005,589		118,657,432
正味財産合計	51,388,545	4,153,689	2,107,956	2,897,900	54,343,504	10,887,628	2,005,589		118,657,432
負債及び正味財産合計	51,388,545	4,153,689	2,107,956	2,897,900	54,343,504	10,887,628	2,005,589		127,784,811

正味財産増減計算書総括表

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計	学術交流費会計	内地留学奨学金	研究奨励賞基金	早川幸男基金会	林 忠四郎賞基金	創100周年記念	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用利益	48,727	0	0	0	0	0	0		48,727
基本財産受取利息	48,727	0	0	0	0	0	0		48,727
特定資産運用利益	24,583	0	418	3,828	177,751	3,290	459		210,329
退職給与引当預金受取利息	60	0	0	0	0	0	0		60
減価償却引当預金受取利息	24,523	0	0	0	0	0	0		24,523
内地留学奨学金積立資産受取利息	0	0	418	0	0	0	0		418
研究奨励賞積立資産受取利息	0	0	0	3,828	0	0	0		3,828
早川幸男基金積立資産受取利息	0	0	0	0	177,751	0	0		177,751
林忠四郎賞積立資産受取利息	0	0	0	0	0	3,290	0		3,290
創100周年記念出版事業積立資産受取利息	0	0	0	0	0	0	459		459
受取会費	39,687,000	1,470,000	0	0	0	0	0		41,157,000
正会員受取会費	25,313,000	0	0	0	0	0	0		25,313,000
学生会員受取会費	4,420,000	0	0	0	0	0	0		4,420,000
租会員受取会費	9,584,000	0	0	0	0	0	0		9,584,000
団体会員受取会費	370,000	0	0	0	0	0	0		370,000
親助会員受取会費	0	1,470,000	0	0	0	0	0		1,470,000
事業収益									
欧文事業収益	38,556,056	0	0	0	0	0	0		38,556,056
購読料収益	29,645,743	0	0	0	0	0	0		29,645,743
掲載料収益	4,869,725	0	0	0	0	0	0		4,869,725
掲載料収益	23,180,938	0	0	0	0	0	0		23,180,938
別冊代収収益	1,595,080	0	0	0	0	0	0		1,595,080
天文月報事業収益	3,025,599	0	0	0	0	0	0		3,025,599
購読料収益	566,739	0	0	0	0	0	0		566,739
別冊代収収益	310,035	0	0	0	0	0	0		310,035
広告料収益	2,148,825	0	0	0	0	0	0		2,148,825
年会事業収益	5,698,570	0	0	0	0	0	0		5,698,570
予備集収益	1,300,000	0	0	0	0	0	0		1,300,000
年会雑収益	4,020,000	0	0	0	0	0	0		4,020,000
印刷収益	378,570	0	0	0	0	0	0		378,570
その他の印刷収益	32,000	0	0	0	0	0	0		32,000
その他の事業収益	154,144	0	0	0	0	0	0		154,144
普及物品頒布収益	154,144	0	0	0	0	0	0		154,144
受取補助金等	9,016,005	0	0	0	0	0	0		9,016,005
受取国庫補助金	8,166,005	0	0	0	0	0	0		8,166,005
刊行物受取補助金	7,500,000	0	0	0	0	0	0		7,500,000
公開講演会受取補助金	666,005	0	0	0	0	0	0		666,005
受取地方公共団体補助金	850,000	0	0	0	0	0	0		850,000
年会受取補助金	850,000	0	0	0	0	0	0		850,000
受取寄付金	128,230	0	0	0	13,000,000	0	0		13,128,230
受取寄付金	128,230	0	0	0	13,000,000	0	0		13,128,230
雑収益	469,478	582	0	0	0	0	0		470,060
受取利息	27,433	582	0	0	0	0	0		28,015
雑収益	41,045	0	0	0	0	0	0		41,045
受取事務手数料	401,000	0	0	0	0	0	0		401,000
経常収益計	87,930,079	1,470,582	418	3,828	13,177,751	3,290	459		102,586,407

(2) 経常費用	67,827,944	1,268,000	250,000	556,791	2,574,127	300,000	0	72,776,862
<b>事業費</b>								
学術交流事業費	0	1,268,000	0	0	0	0	0	1,268,000
内地留学奨学金事業費	0	0	250,000	0	0	0	0	250,000
研究奨励費事業費	0	0	0	556,791	0	0	0	556,791
早川幸男基金事業費	0	0	0	0	2,574,127	0	0	2,574,127
林忠四郎賞事業費	0	0	0	0	0	300,000	0	300,000
欧文事業費	42,879,525	0	0	0	0	0	0	42,879,525
直接出版費	26,901,293	0	0	0	0	0	0	26,901,293
別刷印刷費	338,915	0	0	0	0	0	0	338,915
給与手当	6,352,068	0	0	0	0	0	0	6,352,068
謝金	7,074,670	0	0	0	0	0	0	7,074,670
送料運搬費	1,536,854	0	0	0	0	0	0	1,536,854
消耗品費	75,072	0	0	0	0	0	0	75,072
雑費	254,190	0	0	0	0	0	0	254,190
直接出版費評価	346,463	0	0	0	0	0	0	346,463
天文月報事業費	14,183,359	0	0	0	0	0	0	14,183,359
直接出版費	7,711,615	0	0	0	0	0	0	7,711,615
別刷印刷費	150,861	0	0	0	0	0	0	150,861
給与手当	1,274,583	0	0	0	0	0	0	1,274,583
謝金	1,322,000	0	0	0	0	0	0	1,322,000
送料運搬費	3,175,193	0	0	0	0	0	0	3,175,193
消耗品費	511,291	0	0	0	0	0	0	511,291
雑費	37,816	0	0	0	0	0	0	37,816
年会事業費	6,720,114	0	0	0	0	0	0	6,720,114
予備集印刷費	2,105,389	0	0	0	0	0	0	2,105,389
謝金（アラバイト諸経費）	996,407	0	0	0	0	0	0	996,407
送料運搬費	279,248	0	0	0	0	0	0	279,248
会場費	1,359,007	0	0	0	0	0	0	1,359,007
消耗品費	211,996	0	0	0	0	0	0	211,996
給与手当	1,299,866	0	0	0	0	0	0	1,299,866
旅費交通費	238,220	0	0	0	0	0	0	238,220
保管室運営経費	179,396	0	0	0	0	0	0	179,396
雑費	50,585	0	0	0	0	0	0	50,585
その他の事業費	4,044,946	0	0	0	0	0	0	4,044,946
天体発行費経費	1,787,115	0	0	0	0	0	0	1,787,115
公開講演会経費	1,538,690	0	0	0	0	0	0	1,538,690
普及物品制作経費	82,164	0	0	0	0	0	0	82,164
御星設計コンテンツ経費	56,204	0	0	0	0	0	0	56,204
ジュニアセッション経費	304,114	0	0	0	0	0	0	304,114
天文教育フォーラム経費	20,000	0	0	0	0	0	0	20,000
広報活動経費	217,676	0	0	0	0	0	0	217,676
世界大文庫展示経費	20,525	0	0	0	0	0	0	20,525
普及物品制作費評価	18,458	0	0	0	0	0	0	18,458
<b>管理費</b>	<b>17,299,914</b>	<b>7,030</b>	<b>2,310</b>	<b>30,805</b>	<b>12,600</b>	<b>50,210</b>	<b>0</b>	<b>17,402,869</b>
給与手当	7,879,148	0	0	0	0	0	0	7,879,148
謝金	544,440	0	0	0	0	0	0	544,440
法定福利費	1,236,800	0	0	0	0	0	0	1,236,800
退職給付費用	271,560	0	0	0	0	0	0	271,560
会議費	150,809	0	0	0	0	0	0	150,809
旅費交通費	932,170	0	0	29,200	0	0	0	961,370
送料通信費	416,831	0	0	0	0	0	0	416,831



## 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

- 1 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券以外の有価証券  
時価のないもの…総平均法による原価法によっている。
- 2 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
貯蔵品については最終仕入原価法によっている。
- 3 固定資産の減価償却の方法  
固定資産の減価償却については定額法によっている。
- 4 引当金の計上基準  
退職給付引当金  
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における支給見込額を計上している。
- 5 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

## 2. 会計方針の変更

## 表示方法の変更

正味財産増減計算書の世界天文年展示経費、公開講演会経費、天体発見賞経費及び衛星設計コンテスト経費については、前期までは管理費に含めて計上していたが、収益費用の状況をより明瞭に表示するため当期から事業費に含めて表示している。

## 3. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

基本財産及び特定資産の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	12,310,000	0	0	12,310,000
小 計	<b>12,310,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>12,310,000</b>
特定資産				
退職給付引当預金	1,584,427	242,160	185,860	1,640,727
減価償却引当預金	5,113,280	24,523	0	5,137,803
内地留学奨学金積立資産	2,359,848	0	251,892	2,107,956
研究奨励賞積立資産	3,481,668	0	583,768	2,897,900
早川幸男基金積立資産	44,023,040	13,177,751	2,857,287	54,343,504
林忠四郎賞積立資産	11,234,548	0	346,920	10,887,628
創立100周年記念出版事業積立資産	2,005,130	459	0	2,005,589
小 計	<b>69,801,941</b>	<b>13,444,893</b>	<b>4,225,727</b>	<b>79,021,107</b>
合 計	<b>82,111,941</b>	<b>13,444,893</b>	<b>4,225,727</b>	<b>91,331,107</b>

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	12,310,000	0	12,310,000	0
小 計	<b>12,310,000</b>	<b>0</b>	<b>12,310,000</b>	<b>0</b>
特定資産				
退職給付引当預金	1,640,727	0	0	1,640,727
減価償却引当預金	5,137,803	0	5,137,803	0
内地留学奨学金積立資産	2,107,956	0	2,107,956	0
研究奨励賞積立資産	2,897,900	0	2,897,900	0
早川幸男基金積立資産	54,343,504	0	54,343,504	0
林忠四郎賞積立資産	10,887,628	0	10,887,628	0
創立100周年記念出版事業積立資産	2,005,589	0	2,005,589	0
小 計	<b>79,021,107</b>	<b>0</b>	<b>77,380,380</b>	<b>1,640,727</b>
合 計	<b>91,331,107</b>	<b>0</b>	<b>89,690,380</b>	<b>1,640,727</b>

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,638,512	2,458,770	179,742

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期 末残高	当期 増加額	当期 減少額	当期 末残高	貸借対照表上 の記載区分
23年度科学研究費 (学術刊行物)	日本学術振興会	0	7,500,000	7,500,000	0	
23年度科学研究費 (2011年春公開講演会)	文部科学省	1,000,000	0	1,000,000	0	*
23年度科学研究費 (2012年春公開講演会)	文部科学省	0	1,000,000	0	1,000,000	流動負債
22年度秋年会補助金	石川県・金沢市	0	750,000	750,000	0	
23年度秋年会補助金	鹿児島コンベンション	0	100,000	100,000	0	
合 計		1,000,000	9,350,000	9,350,000	1,000,000	

\* 1,000,000 円のうち 333,995 円返金

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額	(単位：円)
23年度科学研究費 (学術刊行物)	7,500,000	
23年度科学研究費 (2011年春公開講演会)	666,005	*
22年度秋年会補助金	750,000	
23年度秋年会補助金	100,000	
23年度早川幸男基金寄付金	13,000,000	
合 計	22,016,005	

## 財産目録

2011年12月31日現在

(単位: 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,576,840		
郵便振替	2,574,892		
現金手許有高	258,125		
普通預金	10,842,077		
三菱東京UFJ銀行	10,321,085		
住友信託銀行	520,992		
定期預金	6,901,746		
住友信託銀行	6,901,746		
未収会費	1,881,000		
未収金	10,377,078		
前払金	475,785		
貯蔵品	2,963,259		
流動資産合計		36,273,962	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	12,310,000		
定期預金 (住友信託銀行)	12,310,000		
基本財産合計	12,310,000		
(2) 特定資産			
退職給付引当預金	1,640,727		
定額貯金	1,640,000		
普通貯金	727		
減価償却引当預金	5,137,803		
定期預金 (住友信託銀行)	5,000,000		
普通預金 (住友信託銀行)	137,803		
内地留学奨学金積立資産	2,107,956		
普通預金 (住友信託銀行)	2,107,956		
研究奨励賞積立資産	2,897,900		
定額貯金	2,000,000		
普通貯金	897,900		
早川幸男基金積立資産	54,343,504		
定期預金 (住友信託銀行)	36,000,000		
普通預金 (住友信託銀行)	15,929,778		
普通預金 (三菱東京UFJ銀行)	2,413,726		
林 忠一郎賞積立資産	10,887,628		
定期預金 (住友信託銀行)	10,503,150		
普通預金 (住友信託銀行)	384,478		
創立100周年記念出版事業積立資産	2,005,589		
普通預金 (住友信託銀行)	1,900,547		
普通預金 (三菱東京UFJ銀行)	105,042		
特定資産合計	79,021,107		
(3) その他固定資産			
什器備品	179,742		
その他固定資産合計	179,742		
固定資産合計		91,510,849	
資産合計			127,784,811



II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,394,172		
前受金	1,808,000		
航空便代前受	6,000		
その他の前受	1,762,000		
予稿集代前受	40,000		
前受会費	2,152,000		
正会員会費	900,000		
学生会員会費	338,000		
準会員会費	904,000		
団体会員会費	10,000		
預り金	117,480		
校正源泉税	73,870		
その他の源泉税	43,610		
仮受金	15,000		
流動負債合計		7,486,652	
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,640,727		
固定負債合計		1,640,727	
負債合計			9,127,379
正味財産			118,657,432

収支計算書総括表

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計	学術交流費会計	内地留学費基金	研究奨励基金	早川幸男基金	林忠四郎賞基金	創100周年記念	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
基本財産運用収入	48,727	0	0	0	0	0	0		48,727
基本財産利息収入	48,727	0	0	0	0	0	0		48,727
特定資産運用収入	24,583	0	418	3,828	177,751	3,290	459		210,329
退職給付引当預金利息収入	60	0	0	0	0	0	0		60
減価償却引当預金利息収入	24,523	0	0	0	0	0	0		24,523
内地留学奨学金積立資産利息収入	0	0	418	3,828	0	0	0		418
研究奨励積立資産利息収入	0	0	0	0	0	0	0		3,828
早川幸男基金積立資産利息収入	0	0	0	0	177,751	0	0		177,751
林忠四郎賞積立資産利息収入	0	0	0	0	0	3,290	0		3,290
創立100周年記念出版事業積立資産利息収入	0	0	0	0	0	0	459		459
会費収入	39,687,000	1,470,000	0	0	0	0	0		41,157,000
正会員会費収入	25,313,000	0	0	0	0	0	0		25,313,000
学生会員会費収入	4,420,000	0	0	0	0	0	0		4,420,000
準会員会費収入	9,584,000	0	0	0	0	0	0		9,584,000
団体会員会費収入	370,000	0	0	0	0	0	0		370,000
賛助会員会費収入	0	1,470,000	0	0	0	0	0		1,470,000
事業収入	38,556,056	0	0	0	0	0	0		38,556,056
欧文事業収入	29,645,743	0	0	0	0	0	0		29,645,743
購読料収入	4,869,725	0	0	0	0	0	0		4,869,725
掲載料収入	23,180,938	0	0	0	0	0	0		23,180,938
別刷代収入	1,595,080	0	0	0	0	0	0		1,595,080
天文月報事業収入	3,025,599	0	0	0	0	0	0		3,025,599
購読料収入	566,739	0	0	0	0	0	0		566,739
別刷代収入	310,035	0	0	0	0	0	0		310,035
広告料収入	2,148,825	0	0	0	0	0	0		2,148,825
年会事業収入	5,698,570	0	0	0	0	0	0		5,698,570
予稿集収入	1,300,000	0	0	0	0	0	0		1,300,000
登録料収入	4,020,000	0	0	0	0	0	0		4,020,000
年会雑収入	378,570	0	0	0	0	0	0		378,570
印税収入	32,000	0	0	0	0	0	0		32,000
その他の印税収入	32,000	0	0	0	0	0	0		32,000
その他の事業収入	154,144	0	0	0	0	0	0		154,144
普及物品頒布収入	154,144	0	0	0	0	0	0		154,144
補助金収入	9,016,005	0	0	0	0	0	0		9,016,005
国庫補助金収入	8,166,005	0	0	0	0	0	0		8,166,005
刊行物補助金	7,500,000	0	0	0	0	0	0		7,500,000
公開講演会補助金	666,005	0	0	0	0	0	0		666,005
地方公共団体補助金収入	850,000	0	0	0	0	0	0		850,000
年会補助金(春・秋)	850,000	0	0	0	0	0	0		850,000
寄付金収入	128,230	0	0	0	13,000,000	0	0		13,128,230
寄付金収入	128,230	0	0	0	13,000,000	0	0		13,128,230
雑収入	469,478	582	0	0	0	0	0		470,060
受取利息収入	27,433	582	0	0	0	0	0		28,015
その他の収入	41,045	0	0	0	0	0	0		41,045
事務手数料収入	401,000	0	0	0	0	0	0		401,000
事業活動収入計	87,930,079	1,470,582	418	3,828	13,177,751	3,290	459		102,586,407

2. 事業活動支出	67,463,023	1,268,000	250,000	556,791	2,574,127	300,000	0	72,411,941
<b>事業費支出</b>								
欧文事業費支出	42,533,062	0	0	0	0	0	0	42,533,062
直接印刷費支出	26,901,293	0	0	0	0	0	0	26,901,293
別刷印刷費支出	338,915	0	0	0	0	0	0	338,915
人件費支出	6,352,068	0	0	0	0	0	0	6,352,068
謝金支出	7,074,670	0	0	0	0	0	0	7,074,670
送料運搬費支出	1,536,854	0	0	0	0	0	0	1,536,854
消耗品費支出	75,072	0	0	0	0	0	0	75,072
雑支出	254,190	0	0	0	0	0	0	254,190
天文月報事業費支出	14,183,359	0	0	0	0	0	0	14,183,359
直接出版費支出	7,711,615	0	0	0	0	0	0	7,711,615
別刷印刷費支出	150,861	0	0	0	0	0	0	150,861
人件費支出	1,274,583	0	0	0	0	0	0	1,274,583
謝金支出	1,322,000	0	0	0	0	0	0	1,322,000
送料運搬費支出	3,175,193	0	0	0	0	0	0	3,175,193
消耗品支出	511,291	0	0	0	0	0	0	511,291
雑支出	37,816	0	0	0	0	0	0	37,816
年会事業費支出	6,720,114	0	0	0	0	0	0	6,720,114
予稿集印刷費支出	2,105,389	0	0	0	0	0	0	2,105,389
謝金 (7か、印刷経費) 支出	996,407	0	0	0	0	0	0	996,407
送料運搬費支出	279,248	0	0	0	0	0	0	279,248
会場費支出	1,359,007	0	0	0	0	0	0	1,359,007
消耗品費支出	211,996	0	0	0	0	0	0	211,996
人件費支出	1,299,866	0	0	0	0	0	0	1,299,866
旅費交通費支出	238,220	0	0	0	0	0	0	238,220
保育室運営経費支出	179,396	0	0	0	0	0	0	179,396
雑支出	50,585	0	0	0	0	0	0	50,585
その他の事業費支出	4,026,488	0	0	0	0	0	0	4,026,488
天体発行費経費支出	1,787,115	0	0	0	0	0	0	1,787,115
公開講演会経費支出	1,538,690	0	0	0	0	0	0	1,538,690
普及物品制作費支出	82,164	0	0	0	0	0	0	82,164
衛星計測外経費支出	56,204	0	0	0	0	0	0	56,204
ジュニアセッション経費支出	304,114	0	0	0	0	0	0	304,114
天文教育フォーラム経費支出	20,000	0	0	0	0	0	0	20,000
広報活動経費支出	217,676	0	0	0	0	0	0	217,676
世界天文年展示経費	20,525	0	0	0	0	0	0	20,525
学術交流費支出	0	1,268,000	0	0	0	0	0	1,268,000
内地留学籍学金支出	0	0	250,000	0	0	0	0	250,000
研究奨励費支出	0	0	0	556,791	0	0	0	556,791
早川幸男基金支出	0	0	0	0	2,574,127	0	0	2,574,127
林忠四郎賞支出	0	0	0	0	0	300,000	0	300,000
<b>管理費支出</b>	16,920,296	7,030	2,310	30,805	12,600	50,210	0	17,023,251
給与手当支出	7,879,148	0	0	0	0	0	0	7,879,148
謝金支出	544,440	0	0	0	0	0	0	544,440
法定福利費支出	1,236,800	0	0	0	0	0	0	1,236,800
退職給付支出	215,260	0	0	0	0	0	0	215,260
会議費支出	150,809	0	0	0	0	0	0	150,809
旅費交通費支出	932,170	0	0	29,200	0	0	0	961,370
送料通信費支出	416,831	0	0	0	0	0	0	416,831
消耗品費支出	245,170	0	0	0	0	0	0	245,170
消耗品費支出	901,251	0	0	0	0	0	0	901,251



収支計算書に対する注記

〔一般会計〕

- 1 資金の範囲  
資金の範囲には、流動資産（貯蔵品を除く。）及び流動負債を含めている。  
なお、前期末及び当期末残高は、下表2に記載するとおりである。
- 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	18,732,039	16,423,151
未収会費	2,100,000	1,881,000
未収金	4,325,309	10,377,078
前払金	412,438	475,785
有価証券	0	0
流動資産合計	25,569,786	29,157,014
未払金	4,033,811	3,394,172
前受金	1,097,550	1,808,000
前受会費	2,213,000	2,152,000
預り金	0	117,480
仮受金	21,000	15,000
流動負債合計	7,365,361	7,486,652
次期繰越収支差額	18,204,425	21,670,362

〔学術交流費会計〕

- 1 資金の範囲  
資金の範囲には、現金預金、未収会費及び前受会費を含めている。  
なお、前期末及び当期末残高は、下表2に記載するとおりである。
- 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	3,868,137	4,153,689
未収会費	90,000	0
流動資産合計	3,958,137	4,153,689
次期繰越収支差額	3,958,137	4,153,689

〔内地留學費基金会計〕

- 1 資金の範囲  
資金の範囲には、現金預金を含めている。  
なお、前期末及び当期末残高は、下表2に記載するとおりである。
- 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	0	0
合 計	0	0
次期繰越収支差額	0	0

(注) 本特別会計は特定資産のみ保有しており、次期繰越収支差額は、ない。

〔研究奨励費基金会計〕

- 1 資金の範囲  
資金の範囲には、現金預金を含めている。  
なお、前期末及び当期末残高は、下表2に記載するとおりである。
- 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	0	0
合 計	0	0
次期繰越収支差額	0	0

(注) 本特別会計は特定資産のみ保有しており、次期繰越収支差額は、ない。

〔早川幸男基金会計〕

- 1 資金の範囲  
資金の範囲には、現金預金を含めている。  
なお、前期末及び当期末残高は、下表2に記載するとおりである。
- 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	0	0
流動資産合計	0	0
未払金	270,560	0
流動負債合計	270,560	0
次期繰越収支差額	—270,560	0

(注) 本特別会計は当期末においては特定資産のみ保有しており、次期繰越収支差額は、ない。

〔林 忠四郎賞基金会計〕

- 1 資金の範囲  
資金の範囲には、現金預金を含めている。  
なお、前期末及び当期末残高は、下表2に記載するとおりである。
- 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	0	0
合 計	0	0
次期繰越収支差額	0	0

(注) 本特別会計は特定資産のみ保有しており、次期繰越収支差額は、ない。

〔創立100周年記念出版事業基金会計〕

- 1 資金の範囲  
資金の範囲には、現金預金を含めている。  
なお、前期末及び当期末残高は、下表2に記載するとおりである。
- 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	0	0
合 計	0	0
次期繰越収支差額	0	0

(注) 本特別会計は特定資産のみ保有しており、次期繰越収支差額は、ない。

**監査報告**

2011年度事業報告書, 2011年度決算報告書について関係書類とともにその内容を監査した結果, 法令及び定款に照らして正当であることを認めます。  
2012年1月18日

社団法人 日本天文学会

監事 紀伊恒男 印

監事 牧島一夫 印

**【第3号議案】**

**新定款(案)**

**第1章 総 則**

(名称)

第1条 本会は、公益社団法人日本天文学会という。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を東京都三鷹市大沢2丁目21番1号国立天文台内に置く。

(支部)

第3条 本会は、細則の定める場所に従たる事務所を置くことができる。

**第2章 目的及び事業**

(目的)

第4条 本会は、天文学の振興及び普及を目的とする。

(事業)

第5条 本会は、前条の公益目的を達成するために次の事業を行う。

1. 年会等、学術研究集会の開催
2. 学会誌、欧文研究報告誌、及び学術図書等の刊行
3. 研究及び調査の実施
4. 公開講演会等、広報普及活動
5. 人材の育成及びそのための支援
6. 天文教育の支援
7. 研究の奨励及び研究業績等の表彰
8. 関連学術団体との連絡及び協力
9. 国際的な研究協力の推進
10. 天文学に関する政策提言
11. その他公益目的を達成するために必要な事業

第6条 前条の事業は、日本全国、海外及び宇宙空間にて行うものとする。

**第3章 会 員**

(種別)

第7条 本会の会員は、次のとおりとする。

1. 正会員 天文学または関連する分野に携わり、本会の運営に責任をもつ個人
2. 準会員 本会の目的に賛同し、活動に協力する個人
3. 団体会員 本会の目的に賛同して入会した法人または公共性のある団体
4. 賛助会員 本会の事業を援助する個人または法人

(名誉会員)

第8条 本会に特に功労のあった会員に対し、理事会が提案し代議員総会の議決をもって、名誉会員の称号を付与することができる。

(入会)

第9条 会員になろうとする者は、入会申込書を会長に提出し、理事会の承認を受けなければならない。

(会費)

第10条 本会の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、会員は会費を支払う義務を負う。本会会員の会費は、別に細則でこれを定める。

(任意退会)

第11条 会員は、退会届を会長に提出することで、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第12条 本会の名誉を傷つけ、または目的に反する行為をした会員は、代議員総会の決議によって除名することができる。その場合において、当該会員に

対し、当該代議員総会の日から1週間前までにその旨を通知し、かつ、代議員総会において弁明する機会を与えるものとする。

(資格の喪失)

第13条 前2条の場合のほか、会員は次のいずれかの事由によってその資格を喪失する。

1. 会費を支払う義務を1年以上履行しなかった場合
2. 死亡し、若しくは失踪宣言を受け、または法人である会員が解散したとき

#### 第4章 役員、及び職員

(役員)

第14条 本会に次の役員を置く。

1. 理事10名以上20名以内
2. 監事 2名
3. 理事のうち1名を会長とする。会長をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下法人法)上の代表理事とする。
4. 理事のうち2名を副会長とする。

第15条 本会の理事のうち、いずれの1人についても、本人及びその親族(その他特殊の関係がある者も含む)の合計数が、理事総数(現在数)の3分の1を越えて含まれてはならない。

第16条 本会の監事には、本会の理事とその親族(その他特殊の関係がある者を含む)、及び本会の職員が含まれてはならない。また各監事は、相互に親族(その他特殊の関係)であってはならない。

(役員を選任)

第17条 役員を選任は次の方法による。

1. 理事及び監事は、正会員の中から代議員総会で選任する。
2. 理事会は、理事の中から会長及び副会長を選定する。

(理事の職務)

第18条 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、本会を代表し、職務を執行、統括する。会長は、理事会において、毎事業年度に4ヶ月をこえる間隔で2回、もしくはそれ以上、自己の職務の執行状況を報告しなければならない。

第19条 副会長は、会長を補佐し、本会の業務を執行する。会長に事故があるとき、または会長が欠けたときは、副会長のうち年長のものがその職務を代理する。

第20条 理事は理事会を組織し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

(監事の職務及び権限)

第21条 監事の職務及び権限は次の通りである。

1. 理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。
2. いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況の調査をすることができる。
3. 理事会に出席し、必要があると認めるときは意見を述べなければならない。
4. 必要があると認めるときは、理事会の招集を請求することができる。
5. 理事が代議員総会に提出しようとする議案、書類その他法務省令で定めるものを調査しなければならない。この場合において、法令若しくは定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を代議員総会に報告しなければならない。

(役員任期)

第22条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終の事業年度に関する定時代議員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

第23条 前条の規定にかかわらず、補欠により選任された理事または監事の任期は前任者の残任期間、増員により選任された理事または監事の任期は現任者の残任期間とする。

第24条 理事または監事は、第14条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了または辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事または監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第25条 理事及び監事は、代議員総会の決議によって解任することができる。

(報酬等)

第26条 理事及び監事は無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、代議員総会において定める総額の範囲内で、代議員総会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(職員)

第27条 本会の事務を処理するため、必要な職員を置く。職員は会長が任免し、有給とする。

## 第5章 代議員

(代議員)

第28条 概ね正会員50人の中から1人の割合をもって選出される代議員をもって、本会の社員とする。端数については、理事会で定める。

(代議員の選任)

第29条 代議員及びその補欠を選出するため、正会員による代議員選挙を行う。理事または理事会は、この選挙と別に代議員を選出することはできない。代議員選挙を行うために必要な細則は別に定める。

第30条 正会員は他の正会員と等しく代議員を選挙する権利を有する。

第31条 代議員は、正会員の中から選ばれることを要する。正会員は、前条の代議員選挙に立候補することができる。

(代議員の任期)

第32条 代議員の任期は4年とし、2年毎にその半数を改選する。ただし、代議員が代議員総会決議取消しの訴え、解散の訴え、責任追及の訴え、及び役員解任の訴えなど法律上認められた各種訴権を行使中の場合には、当該訴訟が終結するまでの間、当該代議員は代議員たる地位を失わない(当該代議員は、役員選任及び解任並びに定款変更についての議決権を有しないこととする)。

第33条 代議員が欠けた場合には、補欠から補充することとする。補欠の代議員として選任された者の任期は、任期の満了前に退任した代議員の任期の満了する時までとする。

(正会員に代議員と同等の情報開示請求権を付与)

第34条 正会員は、法人法に規定された社員の情報開示請求権を、代議員と同様に本会に対して行使することができる。

## 第6章 理事会

(構成)

第35条 本会に理事会を置く。理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第36条 理事会は、次の職務を行う。

1. 本会の業務執行の決定
2. 理事の職務の執行の監督
3. 会長及び副会長の選定及び解職

(招集)

第37条 理事会は会長が招集する。ただし、会長以外の理事は、法人法に規定された方法により、会長に対し、理事会の招集を請求することができる。

(決議)

第38条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数の者が出席し、その過半数をもって行う。

(決議の省略)

第39条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、その提案について議決に加わることのできる理事の全員が、書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が当該提案について異議を述べたときは、その限りではない。

(議事録)

第40条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成し、出席した会長及び監事は議事録に記名押印し、これを主たる事務所に保存する。ただし、議事録が電磁的記録をもって作成されている場合には、法務省令で定める署名又は記名押印に代わる措置をとる。

## 第7章 代議員総会

(構成)

第41条 代議員総会は、すべての代議員をもって構成する。代議員総会をもって法人法上の社員総会とする。

(権限)

第42条 代議員総会は、次の事項について決議する。

1. 理事及び監事の選任または解任
2. 理事及び監事の報酬等の額
3. 事業計画書及び収支予算書の承認
4. 貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)及びこれらの附属明細書並びに財産目録の承認
5. 定款の変更
6. 解散及び残余財産の処分



7. 会員の除名
8. その他代議員総会で決議するものとして法令またはこの定款で定められた事項

(開催)

第43条 本会の代議員総会は、定時代議員総会及び臨時代議員総会とする。定時代議員総会は、毎年2回、前事業年度終了後3ヶ月以内と当該事業年度後半に開催する。臨時代議員総会は必要がある場合に開催する。

(招集)

第44条 代議員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき、会長が招集する。

第45条 総代議員の議決権の5分の1以上の議決権を有する代議員は、会長に対して代議員総会の目的である事項及び招集の理由を示して、代議員総会の招集を請求することができる。

第46条 代議員総会の招集は、会長は代議員総会の日の1週間前までに（ただし、代議員総会に出席しない代議員が書面または電磁的方法によって議決権を行使することができることを定めて代議員総会を招集する場合には、2週間前までに）、代議員に対して必要事項を記載した書面をもって通知する。

(議長)

第47条 代議員総会の議長は、会長とする。会長及び副会長がさしつかえのある場合は、出席代議員の互選で定める。

(議決権)

第48条 代議員総会における議決権は、代議員1名につき1個とする。

(決議)

第49条 代議員総会の決議は、総代議員の議決権の過半数を有する代議員が出席し、出席した当該代議員の議決権の過半数をもって行う。ただし、代議員は、法人法に規定された方法にもとづき、代理人、書面、または電磁的方法によって、その議決権を行使することができる。

第50条 前条の規定にかかわらず、次の決議は、総代議員の半数以上であって、総代議員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

1. 会員の除名
2. 監事の解任
3. 定款の変更
4. 解散
5. その他法令で定められた事項

(理事または監事の選任)

第51条 理事または監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第49条の決議を行わなければならない。

(通知)

第52条 代議員総会の議事の要領及び議決した事項は、全会員に通知する。

(議事録)

第53条 代議員総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成し、議長が署名押印の上、これを保存する。

## 第8章 会員全体集会

(構成)

第54条 会員全体集会は、すべての会員が自由に参加できる。

(目的)

第55条 会員全体集会は、本会の行っている事業、会計などについての情報を会員に広く伝えるとともに、会員相互の情報共有を図ることを目的とする。

(開催)

第56条 会員全体集会は、毎年2回、年会開催時に行う。また必要に応じて、会長は臨時会員全体集会を招集する。

## 第9章 事業及び会計

(事業計画及び収支予算)

第57条 本会の事業計画書及びこれに伴う収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類は毎年度会長が作成し、理事会の承認を経て、代議員総会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も同様とする。これらの書類については、主たる事務所に当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第58条 本会の事業報告及び決算については、毎事

業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時代議員総会に提出し、第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第6号までの書類については承認を受けなければならない。

1. 事業報告
2. 事業報告の附属明細書
3. 貸借対照表
4. 損益計算書（正味財産増減計算書）
5. 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
6. 財産目録

第59条 前条の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間据え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、会員名簿を事務所に据え置き、一般の閲覧に供するものとする。

1. 監査報告
2. 理事及び監事の名簿
3. 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類
4. 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

（公益目的取得財産残額の算定）

第60条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第4号の書類に記載するものとする。

（事業年度）

第61条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

## 第10章 定款の変更ならびに解散

（定款の変更）

第62条 本定款は代議員総会の決議によって変更することができる。この規定にかかわらず、第64条の規定はこれを変更することができない。

（解散）

第63条 本会は、代議員総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

（公益認定の取消し等に伴う贈与）

第64条 本会が公益認定の取消の処分を受けた場合または合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く）には、代議員総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消の日または当該合併の日から1ヶ月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人または国、もしくは地方公共団体に贈与するものとする。

（剰余金の処分制限）

第65条 本会は剰余金の分配をすることができない。

（残余財産の帰属）

第66条 本会が精算をする場合に伴う残余財産は、代議員総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人または国、もしくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第11章 公告の方法

第67条 本会の公告は、電子公告によるものとする。やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合には、官報に掲載する。

## 第12章 補則

（細則と内規）

第68条 本定款の実行に必要な細則は、理事会の審議を経て代議員総会の議決によって別に定める。また必要な内規は理事会の議決によって定める。

附 則

1. この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
2. 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第61条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

3. 本会の最初の会長は岡村定矩とする。
4. この定款施行後最初の代議員は、第29条と同じ方法で予め行う代議員選挙において最初の代議員として選出されたものである。またその任期は、半数を3年3ヶ月、残り半数を1年3ヶ月とする。

#### 【第4号議案】

第3号議案である新定款については、今後行政庁との協議で細部に変更が生じる場合はその変更は理事長に一任する。

#### 【第5号議案】

##### 代議員選挙施行細則(案)

- 第1条 本細則は定款第29条に基づいて代議員候補者の選出について必要な事項を定める。
- 第2条 改選される代議員定数は、定款第28条に則って理事会で決定する。
- 第3条 選挙管理は、理事会によって非改選の代議員より指名され、理事選出期の代議員総会において承認をうけた委員長1名及び委員4名で構成する選挙管理委員会がこれにあたる。同委員の任期は2年とする。
- 第4条 理事選出期の代議員総会で、委員6名で構成する推薦委員会を選出する。委員は理事、監事及び代議員以外の正会員から選ばれる。委員長は委員の互選で決定する。委員の任期は2年とする。
- 第5条 選挙は互選とし、選挙権及び被選挙権を有する者は公示の時点における正会員とする。ただし、定款32条に定める非改選代議員は被選挙権を有しない。
- 第6条 選挙管理委員会は、投票締切日の50日以上前までに発行される学会誌上で公示を行う。
- 第7条 投票締切日の35日前までを締め切りに、選挙管理委員会は、正会員からの立候補と、推薦委員会からの推薦を受け付ける。推薦委員会はこのときまでに、広く候補者の推薦を正会員から募り、委員会としても候補者の検討を行う。推薦委員会から推薦される候補者数は、改選される代議員定数の2倍をめどとする。
- 第8条 選挙管理委員会は投票締切日より、25日以上前に有権者名簿、立候補したものと推薦されたものの名簿、及び投票用紙を全有権者に発送、また

は電磁的方法により告示する。

第9条 投票は10名以内の無記名連記で行う。投票は、被選挙権を持つものに対して行い、立候補と推薦によるもの以外に対しても有効である。

第10条 当選者は得票順に定める。最下位当選者に該当する者が複数の場合は、選挙管理委員会が抽選で順位を定める。また、当選しなかったもののうちで2番目までの得票のものを補欠とする。補欠の順位においても、同じ得票を得たものが複数ある場合には、選挙管理委員会が抽選で順位を定める。

第11条 選挙管理委員会は選出された代議員、及び補欠の代議員の名簿を学会誌上に発表する。

#### 附則

1. この細則施行後最初の代議員選挙では、全代議員を選出する。当選者のうち得票数が奇数順位の者の任期を3年3ヶ月、偶数順位の者の任期を1年3ヶ月とする。得票数が同じものが複数存在して順位が定まらない場合は、選挙管理委員会が抽選で順位を定める。
2. 附則1の選挙においては、推薦委員会は社団法人日本天文学会・評議員会で選出する。

#### 欧文研究報告(PASJ)からのお知らせ

PASJでは、出版工程迅速化の一環として、64巻(2012)に掲載される論文より、全頁の通しページ番号の割り振りを止め、掲載番号を受理日順に割り振るやり方に変更します。

本論文には番号のみとし、レター論文には「L」を、増刊特集では「S」をそれぞれ掲載番号の前に付けて区別します。

PASJに掲載された論文を引用する場合、従来は論文の1頁目のページ番号を書誌情報として記載して頂いていましたが、64巻以降の論文については、ページ番号に代わり掲載番号を記載して下さい。

例えば、64巻に掲載される3番目の論文を引用する場合は、

Author, A., et al. 2012, PASJ, 64, 3

とReferencesに記載することになります。

(欧文研究報告編集長 茂山俊和)

編集委員会より

天文月報記事ご執筆用テンプレート  
(SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀)

ご執筆者のために日本天文学会HPに「投稿用  
Tex/MS Word テンプレート」をご用意いたしました。

<http://www.asj.or.jp/geppou/yoko/template.html>

texで執筆される方はtex/あるいは文字コードに  
応じてu\_Tex2/

MS Wordで執筆される方はword/をご利用下さい。  
詳しくは各readmeをお読み下さい。

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou    passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまず必要事項を埋めて

下さい。するとアップロードに進むことができま  
す。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増  
やす」ボタンを押して下さい。押す度に欄が増えま  
す。1回あたり全部で最大20 Mbyteまで送信でき  
ます。(それ以上の巨大なファイルのアップロード  
は推奨されませんが、やむを得ない場合は分割して  
お送り下さい)。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。  
したがってcookieを受け取らないブラウザでは使  
えません。またformのcheckや可変個数のアップ  
ロードボックスはjavascriptを利用していますので  
javascriptが使えなければこのuploaderは使えませ  
ん。その場合は従来どおり、[toukou@geppou.asj.  
or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)までメールでご投稿下さい。

■連絡先

アップローダーに関するテクニカルなご質問は  
[yousuke.utsumi@nao.ac.jp](mailto:yousuke.utsumi@nao.ac.jp)まで、またその他のご質  
問は[toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)までお願いします。

柏川伸成 (天文月報編集長)

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字と) **vol98** (5文字) の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは  
印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は  
各号共通の数字です。

柏川伸成(編集長), 市来浄與, 勝川行雄, 鈴木 建, 徂徠和夫, 竹井 洋, 野田寛大, 浜名 崇, 廣田朋也, 前野将太,  
山崎 了

平成24年2月20日      発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内      社団法人 日本天文学会

印刷発行              印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8                      株式会社 国際文献印刷社

定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内      社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

会費には天文月報購読料が含まれます。

©社団法人日本天文学会2012年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)